

The Guide to Campus Life

本冊子について

本冊子「学生生活の手引

(THE GUIDE TO CAMPUS LIFE)」は、

学生のみなさんに知っておいてほしいこと、

知っている役立つことをまとめています。

在学中、困ったことがあったら、

ぜひ本冊子をご覧ください。

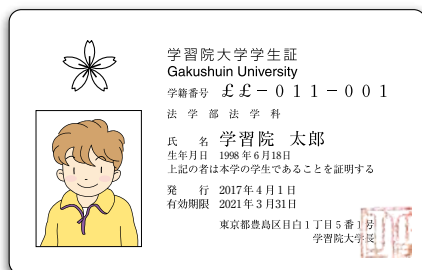
※ 内容は変更されることがありますので最新情報については
ホームページを確認してください。

■ 学生証について

学生証は、みなさんが学習院大学の学生であることを証明するものです。

他人へ貸与・譲渡は厳禁です。

呈示を求められたときは、すぐに呈示できるように常に携帯してください。



平成 29 年度 学年暦

学部・大学院	
行事等	日程
オリエンテーション	4月1日(土)～6日(木)
健康診断	4月1日(土)～6日(木)
新入生履修指導等	4月1日(土)～6日(木)
入学式(学部・大学院・法科大学院合同)	4月3日(月)
第1学期授業開始	4月7日(金)
履修登録期間(学部・大学院)※	4月17日(月)～21日(金)
履修登録修正期間	4月26日(水)・27日(木)
大学開学記念日(開講日)	5月15日(月)
履修取消期間(第1学期)	6月2日(金)～5日(月)
授業評価アンケート実施(全学)	7月3日(月)～15日(土)
補講期間	7月17日(月)・18日(火)・31日(月)
試験振替期間	7月21日(金)～28日(金)
第1学期授業終了(学期末試験を含む)	7月31日(月)
夏季休業	8月1日(火)～9月14日(木)
学期末試験追試験出願期間	～8月2日(水)
集中講義期間	9月8日(金)～14日(木)
学期末試験追試験	9月11日(月)～14日(木)
第2学期授業開始	9月15日(金)
履修登録修正期間	9月22日(金)～28日(木)
開院記念日(休講日)	10月17日(火)
四大学運動競技大会(休講日)	10月20日(金)～22日(日)
大学祭(準備・後片付け含む)(休講日)	11月2日(木)～6日(月)
履修取消期間(第2学期)	11月13日(月)～15日(水)
授業評価アンケート実施(全学)	12月6日(水)～19日(火)
冬季休業	12月25日(月)～1月8日(月)
補講期間	12月20日(水)・1月16日(火)・17日(水)
試験振替期間	1月18日(木)～31日(水)
第2学期授業終了(学年末試験を含む)	1月31日(水)
学年末試験追試験出願期間	～2月5日(月)
春季休業	2月1日(木)～3月31日(土)
学年末試験追試験	2月19日(月)～24日(土)
卒業生・修了者発表	3月10日(土)
卒業式・修了式(学部・大学院・法科大学院合同)	3月20日(火)

休日開講日

5月15日(月)	[大学開学記念日]
7月17日(月)	[海の日](補講日)
9月18日(月)	[敬老の日]
9月23日(土)	[秋分の日]
10月9日(月)	[体育の日]
11月23日(木)	[勤労感謝の日]
12月23日(土)	[天皇誕生日]

法科大学院	
行事等	日程
オリエンテーション	4月1日(土)
入学式(学部・大学院・法科大学院合同)	4月3日(月)
第1学期授業開始	4月4日(火)
履修登録期間(第1学期)	4月4日(火)・5日(水)
健康診断	4月6日(木)
履修登録修正期間(第1学期)	4月26日(水)・27日(木)
大学開学記念日(開講日)	5月15日(月)
履修登録取消期間(第1学期)	6月2日(金)～5日(月)
授業評価アンケート実施(全学)	7月3日(月)～15日(土)
第1学期授業終了	7月20日(木)
学期末試験	7月21日(金)～28日(金)・7月31日(月)～8月3日(木)
夏季休業	8月4日(金)～9月14日(木)
学期末試験追試験出願期間	～8月8日(火)
学期末試験追試験	9月11日(月)～14日(木)
第2学期授業開始	9月15日(金)
履修登録期間(第2学期)	9月15日(金)・16日(土)
履修登録修正期間(第2学期)	10月12日(木)・13日(金)
開院記念日(休講日)	10月17日(火)
四大学運動競技大会	10月20日(金)～22日(日)
四大学運動競技大会期間中の開講日	10月20日(金)・21日(土)
大学祭(準備・後片付け含む)	11月2日(木)～6日(月)
大学祭期間中の開講日	11月2日(木)・6日(月)
履修登録取消期間(第2学期)	11月11日(土)～14日(火)
授業評価アンケート実施(全学)	12月6日(水)～19日(火)
冬季休業	12月25日(月)～1月8日(月)
第2学期授業終了	1月16日(火)
学年末試験	1月18日(木)～31日(水)
学年末試験追試験出願期間	～2月5日(月)
春季休業	2月1日(木)～3月31日(土)
学年末試験追試験	2月19日(月)～24日(土)
修了者発表	3月10日(土)
卒業式・修了式(学部・大学院・法科大学院合同)	3月20日(火)

曜日振替日

4月4日(火)に金曜日の授業を実施

休日開講日

4月29日(土)	[昭和の日]
5月15日(月)	[大学開学記念日]
7月17日(月)	[海の日]
9月18日(月)	[敬老の日]
9月23日(土)	[秋分の日]
10月9日(月)	[体育の日]
11月23日(木)	[勤労感謝の日]
12月23日(土)	[天皇誕生日]

目次

THE GUIDE TO CAMPUS LIFE 2016

はじめに

本冊子について・学生証について	
学年暦	
目次	
こんなとき、どうしたらいいの?	01
キャンパスルール	03
ハラスメントについて	06
こんなことに気をつけよう	07

キャンパスライフ

履修	09
授業	09
試験・成績・ホームルーム	11
資格取得	13
留学	14
キャリア・就職	16
アルバイト	17
健康	18
保険	22
学生相談	23
障がい学生支援	24
住まいの紹介	25

事務手続き

学生証の取扱い	26
証明書	28
学籍の異動	30
学費	31
奨学金	33

教育機関・施設

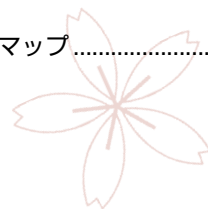
図書館	35
スポーツ・健康科学センター	38
計算機センター	38
外国語教育研究センター	39
東洋文化研究所	39
史料館	40
国際研究教育機構	40
学習院さくらアカデミー	41
学部・大学院に所属する附置研究施設	41
校外施設	42

課外活動

課外活動に参加しよう	44
課外活動助成金	45
輔仁会大学支部各部会紹介	46
願出・届出	48
構内施設	50
黎明会館	54
富士見会館	56

その他

起源・院歌・略年表等	58
開門時間・利用時間一覧	62
自習スペース	64
関係機関・事務室	65
学食・売店	65
『学習院大学』って、こんなところ!! ...	66
キャンパスマップ	折込



こんなとき、どうしたらいいの？

大学生活を送る上で、“こんなとき、どうしたらいいのだろう？”という疑問に直面したら、次に掲載する項目で検索してみてください。

質 問		問い合わせ先	掲載ページ
学 習 コ ン ス ル ト	授業科目の履修方法を知りたいのですが	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	09 ページ
	休講となる条件にはどんなものがありますか	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	10 ページ
	レポートや論文を執筆する際に注意すべきことを教えてください		10 ページ
	自習できる場所を知りたいのですが		64 ページ
	定期試験で注意すべきことを教えてください	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	11 ページ
	やむをえない理由で、定期試験を受けられなかったのですが	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	11 ページ
	レポートの書き方について質問したいのですが	ラーニング・サポートセンター（西2号館 204）	12 ページ
	パソコンを使って学習をしたいのですが	計算機センター（南5号館 2F）	38 ページ
	図書館の利用のしかたを教えてください	各図書館・図書室	35 ページ
	留学の制度について教えてください	国際交流センター（中央教育研究棟 2F）	14 ページ
学 生 の う ち に い ろ い ろ な 資 格 を 取 り た い の で す が	教 職	教職課程事務室（中央教育研究棟 6F）	13 ページ
	学芸員	学芸員課程事務室（北別館）	13 ページ
	司 書	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	13 ページ
	その他	学習院さくらアカデミー	41 ページ
大 学 生 活 コ ン ス ル ト	大学からの連絡事項はどこで確認できますか		03 ページ
	事務室は何時まで開いていますか		62 ページ
	奨学金について知りたいのですが	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	33 ページ
	どんな課外活動のクラブがあるか教えてください	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	44 ページ
	大学の活動中にケガをしたときはどうすればいいですか	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	22 ページ
	具合が悪いのですが、大学の近くの医療機関を紹介してください	保健センター（西2号館地下 1F）	21 ページ
	学内でセクハラにあったのですが、どこに相談したらいいですか	ハラスメント相談窓口相談員	06 ページ

	質 問	問い合わせ先	掲載ページ
大学生生活について	対人関係で悩んでいるのですが、どこで聞いてくれますか	学生センター学生相談室（中央教育研究棟2F）	23 ページ
	地震が起これたらどこに避難すればいいですか		05 ページ
	カルト集団から勧誘を受けました	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	08 ページ
	学内で盗難にあったのですが	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	07 ページ
	SNS やブログを始めるのですが		08 ページ
	就職情報を教えてください	キャリアセンター（西5号館 4F）	16 ページ
	住まいの紹介を受けることができますか	株式会社学習院蓼々会（大学体育館裏）	25 ページ
	アルバイトの求人情報を知りたいのですが	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	17 ページ
諸手続きについて	氏名や住所が変更になったときは、どうすればいいですか	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	30 ページ
	保証人を変更しましたが、手続きは必要ですか	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	30 ページ
	休学や退学を考えているのですが	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	30 ページ
	学生証を紛失・破損してしまったのですが	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	26 ページ
	学内で忘れ物をしたのですが、どこに届きますか	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	07 ページ
	通学定期券を購入したいのですが	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	27 ページ
	学割証を使用して旅行をしたいのですが	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	28 ページ
	ゼミやクラブで団体旅行をしたいのですが	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	29 ページ
	各種証明書発行手続きについて教えてください	各担当窓口	28 ページ
	他の学部学科へ移りたいのですが（転部・転科）	学生センター教務課（中央教育研究棟 1F）	30 ページ
	学内の施設を借りるときの手続きを教えてください	各担当窓口	50 ページ
	学内にポスターを掲示したいのですが	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	48 ページ
	合宿するときの手続きを教えてください	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	49 ページ
	学内で催し物を行うときに手続きは必要ですか	学生センター学生課（中央教育研究棟 1F）	49 ページ
	学習院の校外施設を利用したいのですが	施設部施設課（西5号館5F）	42 ページ

キャンパスルール

大学からの学生への通知・連絡事項は、原則としてすべて掲示板によって伝達しています。掲示した事項については、全学生に伝達されたものとみなしますので、見逃すことのないように注意してください。

大学に来たら、掲示板（巻末折込ページ参照）を確認するという習慣をつけてください。

■「学習院大学通信 COMPASS」をみよう

学習院大学では、大学からのお知らせや情報ととりまとめて、「学習院大学通信 COMPASS」を発行しています。発行は、4月・7月・9月・1月の年4回です。キャンパスライフを送るうえで必要な情報がたくさん掲載されていますので、必ず読んでください。

「COMPASS」は、学内で配布するとともに、保証人宛に送付します。また、学生センター学生課ホームページ

に掲載していますので、こちらをご覧ください。

「COMPASS」は以下の場所に置いてあります。

西2号館	1F 自習室入口前スタンド
西5号館	学生ホール入口前スタンド
中央教育研究棟	1F エスカレーターホール

■ 個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報について、個人のプライバシーを保護し、「個人情報の保護に関する法律」に基づき慎重に取り扱っています。学習院における個人情報の取扱いについては、4月の新入生ガイダンス時に冊子を配付する他、学習院ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

■ 学生の呼び出し・問合せについて

学外（家族や友人を含む）からの電話による呼び出しや伝言は、原則として応じないことになっていきますのでご了承ください。

また、外部からの在籍の確認、住所や電話番号についての問合せにも一切応じていません。学生の住所・電話番号の問合せがあった場合は、大学から学生宛に連絡し、学生本人から問い合わせ先に連絡してもらおうというシステムをとっていますので、学校側から先方に情報を提供することは絶対にありません。みなさんのプライバシーは十分に保護されていますので、大学には正確な住所・電話番号を届け出てください。（住所変更については、30ページ参照）

■ 学生個人宛の郵便物・荷物

学生個人宛の郵便物・荷物は、大学では保管・配達はできません。学生個人宛の郵便物・荷物が大学に届いた際は、発送先に返送します。

■ 学内公認諸団体宛の郵便物・荷物

学内公認諸団体宛の郵便物は、学生相談所をとおして配達しますので、各団体の責任者は、黎明会館2F メールボックスに取りに行ってください。

また荷物（宅配便）は、各自、団体の部室等で日時を指定し、自ら責任をもって受領してください。ただし、日本郵便株式会社の宅配サービス（ゆうパック）を使用すると、法人総務課に届いてしまい、各部室への配達ができません。**宛名には団体名を必ず記載のうえ、部室まで配送可能な方法を利用してください。**

■ ごみの分別収集

学内のごみ箱は、可燃用・びん缶専用・ペットボトル専用・不燃用の4種類に分かれていますので、所定のごみ箱を利用してください。

課外活動で発生した粗大ごみは各自で処分してください。処分手続きがわからない場合は、学生課に相談してください。

また、不要になったプリントやレジュメ等はリサイクル処理をしますので、西5号館・西2号館・中央教育研究棟・大学図書館・南7号館に備え付けのミックスペーパー回収ボックスをご利用ください。

■ 学内分煙（学習院大学内は完全分煙です。受動喫煙防止にご協力ください。）

※ 喫煙ゾーンは巻末のキャンパスマップでご確認ください。

- 建物内（黎明・富士見を含む）は全て禁煙
- 大学内での喫煙は屋外の灰皿設置場所で行うこと（喫煙ゾーン 5箇所）
- 歩きながらの喫煙禁止
- 吸殻のポイ捨て厳禁

■ 自動車・オートバイの入構

学生の自動車・自動二輪車および原付自転車（以下「自動車等」という）での通学および構内への乗り入れは、原則として禁止しています。また、大学周辺の違法駐車も通行に迷惑をかけ、緊急車両の妨害になりますので、自動車等での通学は堅く禁じます。

課外活動に必要な物品の搬入・搬出を行ったり、合宿の出発や帰着のために駐車が必要な場合（大型バスの入構も含む）は、「**学生自動車入構許可願**」を学生センター学生課に提出してください。（手続きについては49ページ参照）

■ 飲酒・騒音等迷惑行為の自粛

下記の行為は、教育・研究活動に支障をきたすため、堅く禁止します。**違反行為があった場合は、厳重に対処します。**

飲酒について

- (1) 未成年者の飲酒（法律で禁じられている）
 - (2) 特別に許可された行事以外の野外での飲酒
 - (3) 許可されている館内施設以外の飲酒
- ※ 学生が、学内に酒類を持ち込むこと、保管することは禁止されています。

騒音による迷惑行為について

- (1) 大声による迷惑行為
- (2) 楽器演奏による迷惑行為

■ 公共の場でのマナー

大学生としての自覚をもち、キャンパス外においても、社会のルールを遵守し、マナー違反を行わないよう、心掛けて下さい。

気を付けたいマナー違反

- (1) 電車など公共交通機関で騒ぐ
- (2) 違法駐輪
- (3) 路上喫煙

■ その他

体育施設以外でのキャッチボール等は、通行人の妨げとなり危険なため、禁止しています。

目白キャンパス内には金融機関の「キャッシュコーナー」が設置されています。

■ 三菱東京 UFJ 銀行

ATM コーナー 学習院

- 設置場所 西5号館 1F 受付前
- 利用時間 平日 9:00 ~ 18:00
土曜 9:00 ~ 15:00

■ セブン銀行

- 設置場所 輔仁会館本館2F
セブン・イレブン内
- 利用時間 セブン・イレブン営業時間内
(参考) 平日・土曜 7:00 ~ 22:00
日祝 8:00 ~ 20:00

■ キャンパス内で地震が発生したとき

地震はいつどこで発生するか予測できません。日頃から、冷静な行動で対処するために、下記の予備知識を頭にいれておきましょう。

学習院大学では、震度6弱以上の地震におそわれた場合、揺れが収まり次第、直ちに対策のための本部を設置します。一時避難所は、「北グランド」及び「硬式野球場」です。

授業中に大きな地震が起こったら

パニックにならずに頭上からの落下物に注意してください。また、あわてて外に飛び出さないでください。揺れが収まったら、教職員や学内放送の指示に従い、落ち着いて行動してください。



学生食堂で地震に遭ったら

出口が少ない場所で起こる地震は、大パニックになる危険性があります。そんな時こそお互いに声を掛け合って、落ち着いて避難してください。



エレベーター内で地震が発生した場合は

エレベーターで移動中に起こった場合は、すべての階のボタンを押して、止まった階で速やかに降り、階段で逃げてください。

閉じ込められた場合には、非常ボタンやインターホンで外部にすばやく連絡してください。



大地震対応マニュアル

「大地震対応マニュアル」を学内（学生センターカウンター、各学科事務室等）で配付しています。このマニュアルは、震度6弱以上の地震に際して、地震発生時に身を守り、発生後数時間の混乱を乗り越え、2～3日後に最低限の社会インフラが回復するまでの対応方法をまとめたものです。大学との連絡方法や帰宅支援MAPも掲載していますので、ぜひ携行してください。

ハラスメントについて

本学では、学生の皆さんが快適なキャンパスライフを送れるように、ハラスメント等に対し次のとおり対策をとっています。

■ ハラスメントの種類

セクシュアル ハラスメント

性的な言葉や行動で相手に不快感や屈辱感、精神的苦痛を与えたり、行為を強要することをいいます。基本的に「相手が望まない性的な言動や行為の全て」がこれに該当します。

アカデミック ハラスメント

教職員など指導的立場にある人が、その権限を濫用して、学生の学業や研究・進学を妨害したり、差別や嫌がらせなどの精神的苦痛を与えたりすることをいいます。

パワー ハラスメント

優位的な立場にある人が、その上下関係を利用して、精神的苦痛や不利益を与えることをいいます。上級生が下級生に不快な行為を強要したり、多数が少数に対して行う差別や嫌がらせも該当します。



その他の ハラスメント

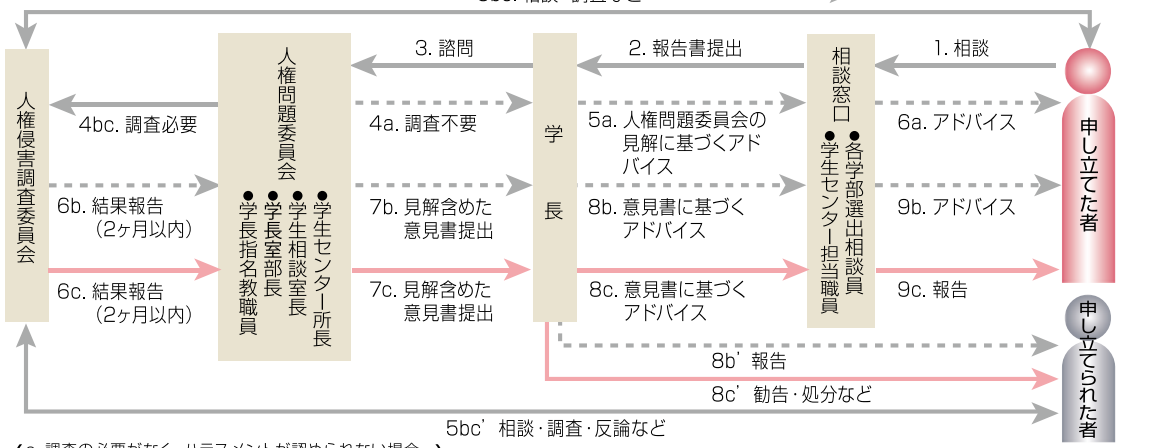
複合的な要素で構成されているハラスメントのほか、恋人同士など結婚していない男女間での身体的、精神的、性的な暴力（デートDV）なども問題になっています。

■ 学習院大学の対応

各種ハラスメントその他人権侵害に対し、各学部と学生センターにハラスメント相談窓口を設置し、学部・学科を問わず相談を受け付けています。ハラスメント相談窓口の相談員は、「学習院大学通信

COMPASS」、「パンフレット」、「大学ホームページ」等でお知らせしています。また、本学のハラスメントに関する基本方針や関連規程は、大学ホームページをご確認ください。

ハラスメント解決手続き



(a. 調査の必要がなく、ハラスメントが認められない場合
 b. 調査をした結果、ハラスメントが認められなかった場合
 c. 調査をした結果、ハラスメントが認められた場合

こんなことに気をつけよう

■ 盗 難

学内であっても盗難が発生することがあります。多い事例としては、机上・ベンチなどに荷物を置いたままその場を離れ、置き引きにあうケースです。以下のことに注意してください。

- (1) 所持品から目を離さない。
- (2) 教室・学生ホール・学生食堂・屋外のベンチなどで、荷物を置いたまま席を離れない。
- (3) 財布等貴重品は常に身につけておく。(トイレ等でわずかな時間席を離れる時も、置いたままにはしないこと。)

学内であるという安心感から無防備になりがちですが、学内といえども決して安全ではありません。

大学構内は、たとえ「窃盗犯」が侵入したとしても、見分けることは困難です。貴重品・手荷物の管理は、個人の責任でしっかりと行うことをお願いいたします。また、構内で不審物・不審者に気づいた時は、教職員、警備員にお知らせください。

万一盗難にあった場合は、至急

- ① キャッシュカード・クレジットカードを盗まれた時は、直ちに金融機関・カード会社に届け出る
- ② 警察に「被害届」を提出する
- ③ 学生センター学生課に「学内での盗難被害届」を提出する

の手続きを行ってください。

■ 忘れ物

大学構内での忘れ物は適宜学生センター学生課に届きます。学生課カウンター横の「忘れ物コーナー」にありますので、自分の忘れ物がみつかったら学生証を持参の上、窓口申し出てください。忘れ物の保管期間は3ヵ月で、期間が過ぎると処分します。

また、財布（キャッシュカード）・学生証・定期券など名前のわかる貴重品類は電話やG-Portで連絡しています。

キャッシュカードやクレジットカードを紛失した場合は、悪用されないように直ちに金融機関・カード会社に届け出てください。

■ 飲酒トラブル

これからの生活では、お酒を勧められる機会が増えてきます。

未成年飲酒は法律で禁止されていることはもちろんですが、成年となってもお酒を過剰に飲んだり、一気飲みをすること、させることは、生命に関わるトラブルに繋がります。絶対に行わないでください。課外活動やコンパで勧められた時も、断る勇氣を持ってください。

急性アルコール中毒について

急激なアルコール摂取は、意識がなくなったり、呼吸が麻痺したりして、**死に至る危険性**があります。これを「急性アルコール中毒」と言います。急性アルコール中毒を防ぐには、短時間に大量のお酒を飲まない、空腹のときは飲酒しない、自分の適性飲酒量を守る等が重要です。急性アルコール中毒になってしまった場合、東京消防庁 救急相談センター(08 ページ参照)に相談し、必要な場合は救急車を呼び、病院で適切な治療を受けることが大切です。

■ 悪徳商法

路上で「無料体験」「アンケート調査」などと称して呼び止めて、商品やサービスを契約させる「キャッチセールス」、はがきや電話で呼び出し、契約を迫る「アポイントセールス」、友人を次々と勧

誘することで被害が広がる“マルチ商法”等、悪徳商法が後を断ちません。

このような誘いを受けた場合は、**個人情報**を伝える**ないこと、きっぱりと断ることが大切です。**

■ 違法薬物・危険ドラッグ

大麻、覚せい剤等、法律で禁止された薬物の吸引は、重大な健康被害が生じるとともに、手を出した瞬間に厳重な社会的制裁が待っています。また、危険ドラッグは、違法薬物と同様に、けいれん・意識障害・呼吸困難等の重大な健康被害を引き起こす危険な成分が含まれている恐れがあります。場合に

よっては、違法薬物以上の危険性がある場合もあり、身体への影響は計り知れません。また、薬物を吸引したことが原因で引き起こされたとみられる事故も増えており、人生を棒に振ることになりかねません。勧誘や誘惑に負けず、絶対に手を出してはいけません。

■ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、ブログ等

近年は、SNS やブログ等により、気軽に情報を世界中に発信できるようになりました。友人同士、仲間同士でのやりとりに利用している方も多いと思いますが、情報は常に世界中に向けて発信されています。

うっかり知り合いに向けて発信した一言から、個

人情報の流出、名誉棄損、犯罪への関与の疑いがかかることもあります。また、就職活動の際に、エントリー先の企業の方があなたのブログを読んでいるかもしれません。SNS やブログ等は、リスクを理解し、マナーを守って正しく利用してください。

■ カルト的集団の勧誘活動

マスコミ等で報道されているように、首都圏の大学でも、カルト集団がスポーツや文化系のサークル活動を装ってキャンパス内に立ち入り、勧誘活動をしています。本学学生諸君もこのような勧誘活動で、様々な個人情報を提供させられ、多額の金品を請求

されたり、社会と隔離されたり、などの被害に遭わぬよう十分注意してください。また、これらに関連して困ったことが生じましたら、学生センター学生課まで相談にきてください。

■ 屋外活動での注意

台風、落雷、竜巻等天候により、屋外での活動に対して自粛または禁止を要することがあります。連絡は、G-Port でのお知らせ配信や構内放送で行います。連絡があった場合は、早急に大学からの指示に従ってください。

また、急に天候が変化した場合は、直ちに身の安全を確保するようにしてください。

落雷

雷鳴がきこえたり雷雲が近づく様子があるときは、活動を一旦やめて、直ちに近くの建物へ避難してください。雷鳴は、遠くかすかに聞こえる場合で

も、自分に落雷する危険信号と考えて、直ちに避難する必要があります。

竜巻

近年、竜巻が発生しています。短時間で狭い範囲に集中して、甚大な被害をもたらすため注意が必要です。

気象庁では、竜巻などの激しい突風に関する気象情報として「竜巻注意情報」を発表しているほか、今にも発生する可能性のある地域の詳細な分布を「竜巻発生確度ナウキャスト」で提供しています。

警察相談ホットライン

架空請求・ヤミ金融・悪質商法に関する相談、男女間暴力・つきまといに関する相談など、様々な相談を受け付けています。

東京都消費生活総合センター

商品購入やサービス利用時の販売・契約・品質のトラブル等に関する相談を受け付けています。

東京消防庁 救急相談センター

症状に基づく緊急性の有無のアドバイス、医療機関案内などの相談を受け付けています。119番する前に利用してみましょう。

警視庁総合相談センター

「# 9110」または「03 (3501) 0110」(平日のみ受付/8:30~17:15)

03-3235-1155 (月~土曜 受付/9:00~17:00)

〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 16階

履修

【窓口】学生センター教務課

大学を卒業するためには、所属する学部・学科が定める履修規定にしたがって所定の単位を修得しなければなりません。たとえ1単位でも不足すると卒業することはできません。

■ 単位制について

大学では単位制をとっています。授業科目を履修し、試験などの考查に合格すると単位が与えられます。

■ 履修手続きについて

(1) 履修の計画

履修要覧（入学時に交付されたもの）、シラバスなどをよく読んで、履修しなければならない科目や履修したい科目をピックアップしてください。

履修登録するまでの期間は履修を希望する授業に自由に出席することができます。それによって最終的にどの科目を履修するかを決定します。（第1回目の授業に必ず出席しなければならない科目もありますので注意してください。）

(2) 履修登録

履修する授業科目について、履修登録期間（4月中旬）内にG-Port上で1年間分のすべての履修科目（通年科目・第1学期科目・第2学期科目）を登録する必要があります。ただし、国際社会科学部が開設する専門科目に限り、第1学期科目は履修登録期間（4月上中旬）、また、第2学期科目は履修登録修正期間（9月下旬）に登録するものとします。なお、事前に登録手続きが必要な科目（外国語科目、情報科目、スポーツ・健康科学科目、演習科目等）については、必ず各科目で要求されている手続を経たうえで、履修登録しなくてはなりません。また、当年度に履修する科目がない場合においても、履修科目がない状態で登録を行ってください。

(3) 履修登録修正

履修登録修正期間内に限り、登録科目の修正が可能です。必要に応じ、登録結果をもとにして、科目の追加および削除の入力を行ってください。なお、事前に登録手続きが必要な科目については、修正することができません。修正期間後は、原則として履修登録の変更は認められません。

(4) 履修登録科目の確認

上記(2)および(3)終了後、履修登録が正しくなされているかどうかを、G-Portの「履修登録確認画面」で確認してください。誤った履修登録がされていると試験に合格しても単位は認められません。（「履修登録確認画面」を紙媒体に出力のうえ、保管することを推奨します。）

(5) 履修登録科目の取消

履修登録修正期間後は、原則として履修登録の修正は認められませんが、履修登録を行った科目について、途中で履修を中止したい場合、履修取消期間内に限り、所定の条件の範囲で登録科目の取消（削除のみ）が可能です。なお、あらかじめ履修取消が認められていない科目については、取消することができません。（詳細はG-Portでお知らせします）

授業

【窓口】学生センター教務課

授業時間

1時限	9:00～10:30
2時限	10:40～12:10
3時限	13:00～14:30
4時限	14:40～16:10
5時限	16:20～17:50
6時限	18:00～19:30

（特定科目のみ）

時間割、教室、担当教員

授業の時間割、教室、担当教員については、「授業時間割」を参照してください。なお、教室の変更については、直近の一週間は北1号館西側掲示場及び中央教育研究棟1Fのプラズマディスプレイに表示されます。それ以降は学生センター教務課カウンターの「授業時間割（閲覧用）」ならびにG-Portのスケジュール画面を参照してください。

※ 補講・集中講義等については、別途掲示します。

● 北1号館西側掲示場（折込キャンパスマップを参照）

■ 欠席について

大学では、病気欠席や急引など「公欠」の制度がないので、特に連絡の必要はありません。登校できるようになってから、授業担当の先生に前回欠席の旨を伝えてください。ただし、学校感染症にかかった場合は、登校せずに速やかに保健センターに連絡してください。

学則上、授業時間数の1/3以上を欠席した場合は、その科目の単位を修得できないことになっていますので、注意してください。また、欠席が3カ月以上にわたる場合は、休学の手続をとってください。

● 学校感染症（19ページを参照）

■ 休講について

- (1) 大学側あるいは授業担当者の都合でやむを得ず授業を休講とする場合には、前もって掲示及び G-Port で告知します。休講の掲示がなく、授業開始時刻を 30 分以上経過しても何の連絡もない場合には、学生センター教務課に問合せ、指示を受けてください。
- (2) 気象庁から気象に関する警報が発表された場合、また、自然災害・ストライキに起因して交通機関の運行が停止した場合、学長は次項の基準をもって判断の上、休講に関する措置を決定し、できる限り速やかに G-Port 及び大学ホームページに掲載し告知します。
- (3) 前項による措置の他、学長の判断により授業を休講とすることがあります。この場合は、掲示を行うとともに、できる限り速やかに G-Port に掲載するものとします。

■ 大規模地震の警戒宣言が発令された場合

大規模地震対策特別措置法に基づき警戒宣言が発令された場合は、授業を中止し臨時に休業とします。また、警戒宣言が解除された場合は、次の措置をとります。

- (1) 6：00 までに解除された場合には、平常どおり授業を行います。
- (2) 10：00 までに解除された場合には、第3時限より授業を行います。
- (3) 12：00 を過ぎて解除された場合には、その翌日から授業を行います。

休講となる条件 (①②③の1つでも条件を満たす場合)

【気象に関する警報が発表された場合】

- ①「**暴風・大雪・暴風雪警報のいずれか**」が、「**東京 23 区全域に発表された**」場合
(東京 23 区のみならず、あるいは多摩西部・多摩南部・多摩北部に警報が発表されても休講措置は講じない)
※警報については気象庁ホームページ等で確認してください。

【自然災害・ストライキに起因する交通機関の運行停止の場合】

- ② JR 山手線が全面不通の場合
- ③ 山手線以外の JR 線・大手私鉄等各線 (下記参照) のうち 3 路線以上が同時に全面不通の場合

③の対象となる交通機関	JR 線	埼京・川越線 (大崎～川越) 中央線 (東京～高尾) 総武 (快速) 線 (お茶の水・東京～千葉) 常磐 (快速) 線 (上野～土浦) 京葉線 (東京～蘇我)	京浜東北・根岸線 (大船～大宮) 東北 (宇都宮) 線 (上野～小山) 高崎線 (上野～熊谷) 東海道線 (東京～小田原) 横須賀線 (東京～逗子)
	大手私鉄線等	東武東上線 (池袋～森林公園) 東武伊勢崎線 (浅草～東武動物公園) 西武池袋線 (池袋～飯能) 西武新宿線 (西武新宿～本川越) 小田急小田原線 (新宿～本厚木) 京王 (新) 線 (新宿～京王八王子) 京王井の頭線 (渋谷～吉祥寺) 東京メトロ線 (全線不通で 1 路線分とみなす) 都営地下鉄 (全線不通で 1 路線分とみなす) 東急東横線 (渋谷～横浜) 東急田園都市線 (渋谷～中央林間)	東急目黒線 (目黒～日吉) 東急池上線 (五反田～蒲田) りんかい線 (大崎～新木場) 京浜急行本線 (品川～堀ノ内) 東京モノレール (モノレール浜松町～羽田空港第 2 ビル) ゆりかもめ (新橋～豊洲) つくばエクスプレス線 (秋葉原～つくば) 京成本線 (京成上野～成田空港) 京成成田スカイアクセス線 (京成上野～成田空港) 日暮里・舎人ライナー (日暮里～見沼代親水公園)

授業開始の条件

- | | | |
|----------------------------------|-----|----------------|
| 6：00 までに① ② ③の条件が全て解消された場合 | ……… | 平常どおり授業を行う |
| 10：00 までに① ② ③の条件が全て解消された場合 | ……… | 第 3 時限より授業を行う |
| 12：00 までに① ② ③の条件が全て解消された場合 | ……… | 第 4 時限より授業を行う |
| 14：00 までに① ② ③の条件が全て解消された場合 | ……… | 第 5 時限より授業を行う |
| 14：00 を過ぎても① ② ③いずれかの条件が解消されない場合 | ……… | 当日の授業をすべて休講とする |

■ レポート・論文等に関する注意事項について

本学では授業の課題としてレポートの提出を求めることがあり、学科によっては卒業論文の提出を卒業要件としています。自身が作成したレポート・論文について、不正行為を疑われることのないよう、以下の点に十分留意してください。

1. 不正行為とみなされる行為

- (1) 捏造：存在しないデータ、研究結果等を作成することであり、実際に行っていない調査、実験等の結果を作り上げるなどが該当します。
- (2) 改ざん：研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工することであり、結論を導くために不都合な結果を意図的に削除することなどが該当します。
- (3) 盗用：他者のアイデア、データ、研究結果等を本人の了解又は適切な表示なく流用することであり、web ページ等の記載を出典を明記せずに論文等に記載することなどが該当します。

2. 基本ルール

- (1) レポートや論文の執筆にあたっては、担当教員の指示に従う必要があります。執筆にあたって不明な点がある場合は、事前に担当教員に確認してください。
- (2) 作成したレポート・論文は、期日までに提出する必要があります。提出期日を守らなかったことによる不利益は、本人がその責任を負うこととなりますので、注意してください。提出要件についても担当教員の指示を厳守してください。
- (3) 自身のレポート、論文の中で先行研究を引用する場合は、引用箇所を明示する必要があります。他人（知人を含む）の文章をそのまま使用する、語尾など一部を改変して自らが作成した文章のように見せかけることなどはあってはならないことですので、厳に慎んでください。
- (4) インターネットは容易に情報が入手可能な半面、発信者が不明であったり、その正確性が担保されていないものが多数含まれています。図書、雑誌論文、新聞記事等を含め、複数の情報源を参照したうえで執筆するようにしてください。

試験・成績・ホームルーム

【窓口】学生センター教務課

■ 試験

定期試験

学期末試験 7月中旬～下旬

学年末試験 1月中旬～2月上旬

※ 授業科目によっては、上記期間外に実施するものもありますので、注意してください。また、定期試験の時間割は、1～2週間前に掲示で発表します。詳しいことは、「履修要覧」を参照してください。

追試験

やむを得ない事情によって所定の日に、試験を受けられなかった者に対しては、追試験を行うことがあります。詳しいことは、「履修要覧」を参照してください。

受験上の注意事項

- (1) 履修登録した授業科目でなければ、受験することはできません。
 - (2) **学生証を必ず携帯し**、試験時間中は常に机の上に呈示してください。また、**学生証を携帯しない者は、いかなる事情があっても受験できません**。学生証を紛失した場合は、再発行の手続きをしてください（「学生証の取扱い」参照）
 - (3) 学生証を忘れた者に対しては、試験用に特別に発行する「仮学生証」を呈示した場合に限り、受験を許可します。仮学生証は、学生センター教務課で発行します。（手数料：100円）
 - (4) 試験開始から20分以上遅刻した者は受験を認めません。
 - (5) 試験開始後30分を経過するまでは、試験場からの退場を許可しません。
 - (6) カンニングなどの不正行為を行った場合は、学則第70条に基づき、訓告、停学又は退学とし、履修単位の無効措置の処分を行うため、特に自戒するようにしてください。
- ※ その他、詳しい注意事項は「履修要覧」を参照してください。

■ 成績

成績の評価は、100点を満点とし1点刻みの点数で成績表の評価欄に表示します。可否の基準点は、60点以上が合格、59点以下は不合格となります。評価は右図のとおりです。法科大学院学生については評価基準が異なります。詳細は法科大学院履修要覧を参照してください。

合格	S (秀)	100点～90点
	A (優)	89点～80点
	B (良)	79点～70点
	C (可)	69点～60点
不合格	F (不可)	59点～0点

- ※ 当年度までに履修したすべての授業科目の成績は、3月下旬にG-Port上で発表しますので、発表後、必ず「成績照会画面」を紙媒体に出力のうえ、大切に保管してください。これは新年度の履修計画を立てる上での資料となるだけでなく、学部によっては演習等の申込みの際に必要なことがあります。また、成績証明書発行不可期間において証明書の代用として就職活動に役立つ場合もあります。
- ※ 5大学間大学交流科目（f-Campus）の成績評価は、S・A・B・C・Fのみが表示され、素点は表示されません。
- ※ 本学で発行する成績証明書には秀・優・良・可のみが表示され、不可は表示されません。また、入学前または留学先大学等で修得した科目の単位を本学の単位として認定したものは「認」と表示されます。

■ 指導教授制度（ホームルーム）

本学では、みなさんが入学時から勉学上その他学生生活上の問題について、指導教授に相談し助言をうけて充実した大学生活を送ることができるよう「指導教授制度（ホームルーム）」を設けています。詳細は次のとおりです。

- (1) 新入学生の指導教授は、印刷物によって発表します。
- (2) 学生は各指導教授に面会日、面会場所等を確認し、その都度個人指導を受けてください。

- (3) 第2年次の学生は、前年度の指導教授に引き続いて指導を受けることになります。
- (4) 第3年次以降の学生は、演習担当教授、特に専攻予定の学科目担当教授、または従来からの指導教授のうち適当と思う人を選んで、指導を受けることができます。
- (5) ホームルーム実施の詳細は、学部により異なりますので、入学時の各学部からの指示に従ってください。

■ 学習支援

【窓口】ラーニング・サポートセンター

ラーニング・サポートセンターでは、様々な学習支援を行っています。日々の勉強や試験に向けての学習、長期休業期間中の課題・レポートの作成などに、ぜひ積極的に活用してください。

多様な学問分野を学んだスタッフたちが、学生一人ひとりの質問・相談に親身になって対応します。

○具体的な学習支援の内容

- ・ライティングサポート（基本的な論文・レポート（英文を含む）の書き方、ルール、マナー等）
- ・プレゼンテーションサポート（プレゼンテーション資料の作り方、発表リハーサル、質問の仕方等）
- ・文献検索支援（レポートや発表のための参考文献の見つけ方）
- ・学習方法・内容に関する相談（授業のための勉強法、授業で出された課題への取り組み方、その他学習全般に関する相談）
- ・履修登録前の相談
- ・各種講習会・勉強会等の開催
- ・自習&グループ学習（スタッフに質問することもできる自習場所として、またグループ学習の場として活用してください）

【開室曜日・開室時間】

〔開室曜日〕 月曜日～土曜日（祝日（休日開講日を除く）、年末年始、一般入試期間、夏季一斉休業日を除く）

〔開室時間〕 月曜日～金曜日：10：00～19：00

長期休業中以外の土曜日：10：00～14：00

※ 学内行事やセンターの都合により臨時に閉室することがあります。

詳細は、パンフレットまたはホームページに記載の開室カレンダーをご覧ください。

【場所】 西2号館 204教室

資格取得

卒業後の進路に明確な目的意識を持てるよう、本学では次のような資格課程を設けています。

■ 教員免許状を取得するために…

【窓口】 教職課程事務室

卒業後、小学校、中学校や高等学校、中等教育学校の教員を目指す人は、教育職員免許法の定めるところにより所要条件を満たし、かつ所定の単位を修得し、申請することで、教育職員免許状を取得することができます。取得できる免許状の種類・教科は所属する学科によって決められています。第1学期開講の「教育基礎」第1回目の授業で説明を行いますので、履修希望者は必ず出席してください。（教育学科を除く）

また、本学では教職課程の事務手続きや履修指導はもとより、教員採用試験の受験相談や指導、さら

に教員募集に関する情報提供にいたるまで、教職に関する業務を一貫して行う「教職課程事務室」を設けています。

なお、他大学からの編入・学士入学者、大学院入学者については扱いが異なりますので、入学決定後すぐに相談に来てください。既修得単位状況により、免許取得まで2年以上かかる場合もあります。

※ 原則として、在学生の電話による問合せは、一切受けていません。

■ 学芸員資格を取得するために…

【窓口】 学芸員課程事務室

学芸員とは、博物館や美術館などにおいて様々な資料の収集、保管、展示および調査研究その他関連事業をつかさどる専門職員のことをいいます。本学ではこうした学芸員の資格を得ようとする人に対し、資格取得のための授業科目を設置しています。資格取得には所属学部卒業要件を満たし、かつ「博物館に関する科目」のうち所定の単位を修得しなければなりません。4月上旬に博物館に関する科目履

修ガイダンスを行いますので、履修希望者は必ず出席のうえ、所定の手続きをしてください。

また、本学では、学芸員資格取得に関する情報提供や諸手続き等を行う「学芸員課程事務室」を学内の博物館相当施設である史料館内に設けています。

※ 授業の履修やガイダンスの開催等の重要連絡は、すべて西1号館北側掲示場に掲示されます。

■ 司書資格を取得するために…（参考）

【窓口】 学生センター教務課

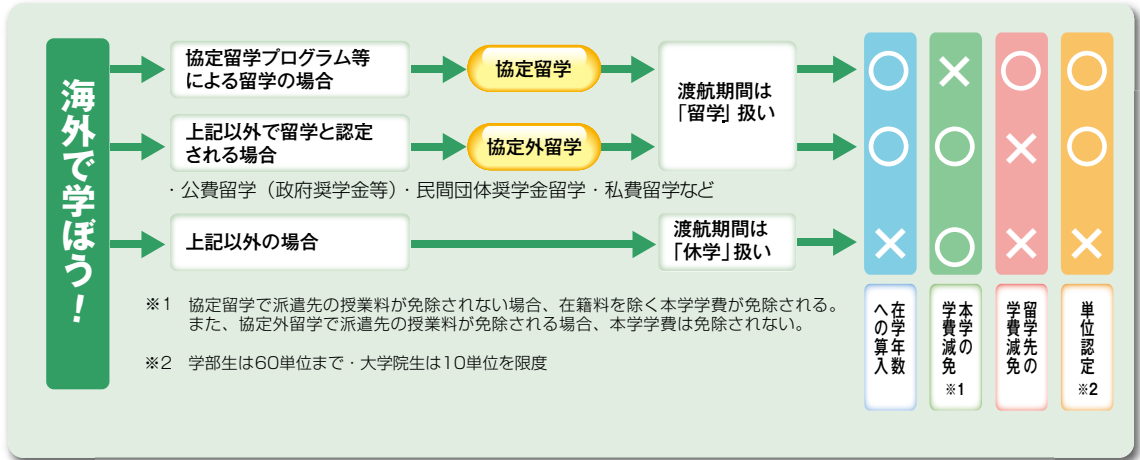
司書は図書館において専門的職員として大きな役割を担っています。司書課程は、図書館法に基づいて、司書となるのに必要な資格を得るための課程です。本学には司書課程は設置されていませんが、学習院女子大学との協定に基づき、女子大学の科目等履修生として所定の授業科目の単位を修得し、要件を満たすことによって、司書の資格取得への道をひらいています。

教務課で行う業務	女子大学で行う業務
● 出願要項・願書の配布	● 履修ガイダンスの開催
● 願書の受付	● 図書館司書課程履修費の徴収
● 履修許可の結果発表	● 身分証明書の発行
● 成績表の交付（年2回）	● 成績証明書の発行
● 司書課程免許状の交付（卒業時）	● 司書資格取得証明書の発行
	● 休講等各種連絡事項の掲示

留学

■ 留学制度について

本学では、在学中に海外の教育機関で学ぶ場合、下記のような制度を設けています。



※「留学」として認められるかどうかは、主に留学先の教育機関や学習内容によります。詳細は学科事務室や教務課に相談してください。
 ※学部・研究科独自の留学に関する情報は、学部・研究科事務室に問い合わせてください。

■ 協定留学プログラム

本学では、現在、交流協定締結校との協定留学プログラムを積極的に進めています。

プログラムの内容は、協定校により異なりますが、ほとんどの場合、留学先大学の学費が免除される^(※)、学生寮が用意される等のメリットがあります。派遣学生の募集は、大学別に年2回行っています。

今後、国際交流センターでは、協定留学プログラムの充実を図る予定ですので、みなさんも日頃から語学力を磨き、ぜひチャレンジしてください。

※学費免除対象外の協定校については、国際交流センターへお問い合わせください。

協定校一覧 (2017年度派遣学生募集を行った大学間協定校)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1 北京大学 (中国) | 19 ノースカロライナ州立大学シャーロット校 (アメリカ) |
| 2 復旦大学 (中国) | 20 イースト・アングリア大学 (イギリス) |
| 3 北京外国語大学 (中国) | 21 ヨーク大学 (イギリス) |
| 4 香港中文大学 (中国) | 22 エディンバラ大学 (イギリス) |
| 5 東呉大学 (台湾) | 23 オックスフォード・ブルックス大学 (イギリス) |
| 6 淡江大学 (台湾) | 24 国立ナポリ東洋大学 (イタリア) |
| 7 国立中山大学 (台湾) ※新規募集 | 25 ボローニャ大学 (イタリア) |
| 8 慶北大学校 (韓国) | 26 トリノ大学 (イタリア) ※新規募集 |
| 9 啓明大学校 (韓国) | 27 マンハイム大学 (ドイツ) |
| 10 東国大学校 (韓国) | 28 バイロイト大学 (ドイツ) |
| 11 高麗大学校 (韓国) | 29 ザルツブルク大学 (オーストリア) |
| 12 ソウル市立大学校 (韓国) ※新規募集 | 30 アイスランド大学 (アイスランド) |
| 13 チュロンコン大学 (タイ) | 31 パリ第十大学 (フランス) |
| 14 アサンブション大学 (タイ) | 32 パリ第七大学 (フランス) |
| 15 オーストラリア国立大学 (オーストラリア) | 33 リヨン第二大学 (フランス) |
| 16 ニューサウスウェールズ大学 (オーストラリア) | 34 リヨン政治学院 (フランス) |
| 17 マードック大学 (オーストラリア) | 35 タルトゥ大学 (エストニア) ※新規募集 |
| 18 ウェリントン・ヴィクトリア大学 (ニュージーランド) | |

■ 海外短期語学研修プログラム

長期休業等を利用し、海外で短期語学研修に参加するには、民間の斡旋業者を利用するなど、いくつかの方法がありますが、右記のような、学内で全学科を対象に実施しているプログラムを利用することもできます。その他、学部主催のプログラムあり、一部では他学部・他学科を受け入れています。

※ これらは平成 28 年度の一例ですので、参加を検討する際には、各学科等に当該年度の実施予定を確認してください。

全学科対象の短期語学研修		
主 催	研 修 先	国
国際研究教育機構	フライブルク大学	ドイツ
	復旦大学 / 陝西師範大学 / 北京郵電大学 / 東呉大学 / 慶北大学校 / インドネシア国立大学	中国 / 韓国 / 台湾 / インドネシア
	プザンソン・フランシュ・コンテ大学	フランス
	アルガス欧州日本学研究所	フランス
	東国大学校	韓国
国際交流センター	ヨーク大学	イギリス
	タルトゥ大学	エストニア
	エディンバラ大学	イギリス
	淡江大学	台湾
	プリティッシュヒルズ	日本 (福島県 (※))

※国内での英語研修

■ 海外留学等のための経済的支援制度

～学内の奨学金等～

本学では、できるだけ多くの皆さんが、海外においてさまざまな経験を積むことができるよう、次のような経済的支援を行っています。なお、内容が変更される場合もありますので、詳細はそれぞれの募集要項を確認してください。

奨学金等名称	対 象	金 額	貸・給別	採用数	選考時期・方法
学習院大学 海外留学奨学金	「協定留学」又は「協定外留学」をする学生	30 万円以内	給付	50 名程度	年 2 回 (6、12 月) 書類審査
学習院大学 海外短期語学研修奨学金	夏季休業中に海外で 3 週間以上の学内主催の語学研修に参加する学生	10 万円以内	給付	60 名程度	年 1 回 (10 月) 書類審査
学習院大学春季語学 研修奨学金	国際交流センター主催の春季語学研修に参加する学生	7 万円以内	給付	30 名以内	年 1 回 (3 月) 書類審査
学習院大学 語学能力試験受験の助成	留学のための語学試験を受験する学生	1 万円以内	給付	50 名以内	年 2 回 (6、12 月) 書類審査
大学院学生の国外における 研究発表援助	海外における学会等で発表を行う大学院生	10 万円以内	給付	20 名程度	年 1 回 (12 月) 書類審査

～学外の奨学金等～

- 公費奨学金…日本政府、外国政府および地方自治体による奨学金
- 民間団体奨学金…各種財団や団体による奨学金

■ 国際交流センター

留学しようと思った場合、まず窓口となるのが国際交流センターです。国際交流センターでは、留学をはじめ国際交流に関する以下のようなサービスを行っています。

学内交流：国際交流センターボランティアの募集

- ・国際交流イベント企画、運営
- ・留学生のホームステイ事業
- ・外国人留学生のパーティ など

イベント：留学フェア、チャットルーム等の開催

設置資料：協定校および協定留学に関する情報

- 海外の大学便覧・大学案内等
- 留学一般に関するガイドブック
- 国際交流一般に関する情報
- 国際交流諸団体発行の定期刊行物

質 問 等：留学に関する質問・相談への対応

定期刊行物：ニューズレター (年 2 回発行)

平成 28 年度
留学生書道体験教室にて
(於 国際交流センター)

場 所	中央教育研究棟 2F
開室時間	月～金曜日 8:40～16:45 (昼休み 11:30～12:30) 土曜日 8:40～12:30
掲示板	国際交流センター外廊下
ホームページ	http://www.univ.gakushuin.ac.jp/global



キャリア・就職

■ 充実した大学生活を送ろう

大学に入学したばかりの皆さんにとって「就職」はずっと先のことに感じられると思います。しかし、大学での4年間は、社会人になるための準備期間でもあるということを忘れないでください。だからといってあまり難しく考える必要はなく、充実した大学生活を送ることを心がければよいのです。

1. 大学では自分が主人公

大学では、自分で考え、自分で行動する「自主性」を身につけることがとても大切です。高校までとは違い、必要な情報は自分で集めなければなりません。自主的に行動することで、大学は様々な希望をかかなえるための舞台になります。

2. いろいろな人と交流しよう

次に大切なのが、たくさんの人と出会ってコミュニケーションの輪を広げることです。大学では、その気になればたくさんの人に会うチャンスがあります。また、課外活動、アルバイトにも前向きに取り組んでください。

3. 大学の授業で能力アップ

大学の授業では、レポートを書いたり、ディスカッションやプレゼンテーションをすることがありますが、こうしたことの積み重ねにより自然に「書く力」「話す力」「伝える力」「情報を集める力」を身につけることができます。

■ キャリアセンター（西5号館4F）を活用しよう

キャリアセンターでは、皆さんの就職活動やキャリア形成を支援しています。疑問や不安をそのままにせず、キャリアセンターを上手に利用してください。エントリーシートの書き方、模擬面接、OB・

OG訪問の方法など、どんな質問にもお答えします。

資料室には、求人票や先輩たちが書いた就職活動報告書、書籍など就職活動に役立つさまざまな資料やパソコン、コピー機を備えています。

■ キャリア・就職支援プログラム

キャリアセンターでは、「自己分析」「志望動機」「プレゼンテーション」を就職活動の3つの柱と位置づけて指導しています。また、すべての就職セミナーにおいて学生参加型のアクティブラーニングを取り入れ、成果をあげています。他にも業界研究ワークショップ、学内企業説明会、筆記試験対策講座、少人数でのミニセミナーなど数多くのプログラムを

用意しています。特に1月に開催される「面接対策セミナー」は、企業の第一線で活躍されているOB・OGを講師としてお招きし、グループディスカッション・集団面接・個人面接を2日間にわたり徹底的に指導するセミナーで、学内外から高い評価を得ています。

大学院進学

■ 大学院進学の情報アドミッションセンター（西5号館4F）で入手

本学大学院への進学は、大きく「学内推薦」による方法と「一般入試」による方法とに分けられます。

大学院では、より主体的に「求める」という姿勢が大切となりますので、いずれの方法を選択するにしても、早い段階から大学院進学を視野に入れた大学生活を送られると良いでしょう。

アドミッションセンターでは、大学院進学を考えている皆さんへ、次のような情報を提供しています。

・本学大学院の情報

- 大学院案内の配布 …………… 【窓口】
- 入試要項（願書）の配布 …………… 【窓口】
- 入試要項（出願資格・日程等）の掲示 ……………
【窓口・西1号館北側掲示場】
- 入試問題（過去3年間）の閲覧 ……………
【窓口／コピー可：自費】

・他大学大学院の情報

- 入試要項の閲覧 …………… 【窓口】

アルバイト

大学では、アルバイト紹介をするうえで、学業や健康に支障のないこと、金銭やアルバイト内容のトラブルを回避する等の注意を呼びかけると共に、情報を下記のとおり提供しています。

また、1年生については、夏季休業期間に入るまでは、授業を優先し、アルバイトは自粛してください。

■ トラブル回避のために

現在、様々な方法で求人情報を入手することができます。これらは情報が豊富であるというメリットがありますが、次のような学生にとってふさわしくない職種が掲載されていることも考えられます。

- (1) 危険を伴うもの
- (2) 健康を害するもの

(3) 教育上好ましくないもの

(4) 法令に違反するもの

報酬や興味本位で選択するのではなく、学生としてふさわしいアルバイトを探すように心がけることが必要です。

■ アルバイト求人情報提供

大学では、アルバイト紹介業務を(株)学生サポートセンターが指導する、(株)ナジック・アイ・サポートが運営する求人情報サイト「学生アルバイト情報ネットワーク」で行っています。

●アルバイト情報がパソコン・携帯電話で検索できます。

●24時間アルバイト情報を閲覧できます。

なお、**学内、官公庁等のアルバイトは学生センター学生課掲示板（中央教育研究棟 1F）を通じておこないます。**

登録方法（初めて利用する方）

- ① 学習院大学「在学生の方」→「学生生活情報」→「アルバイト」の画面を開きます。
- ② (株)ナジック・アイ・サポートの「学習院大学アルバイト紹介システム」(<http://www.aines.net/gakushuin/>) にアクセスします。
- ③ 新規登録画面をひらきます。
- ④ 大学発行のE-mail アドレス（学籍番号@gakushuin.ac.jp）を登録します。（個人所有のメールアドレスでは登録できません。）
- ⑤ 利用のためのIDとパスワードが登録した大学のメールアドレスに直ちに通知されます。

利用方法

- ① 「学習院大学アルバイト紹介システム」(<http://www.aines.net/gakushuin/>) にアクセスします。（学内外のネットワーク環境からでもアクセスできます。）
- ② 通知されたIDとパスワードを入力します。
- ③ 希望する職種、地域、沿線、短期、長期等（詳細は画面参照）で求人先を探します。
- ④ 求人先に連絡します。

健康

新入生の皆さんは、青年期の真ただ中にあり、独自の生活習慣を形成する過程にいます。多様化する生活様式の中で自己のライフスタイルを見つけ、健康で有意義な学生生活を過ごしてください。

■ 本物の健康を手に入れよう！

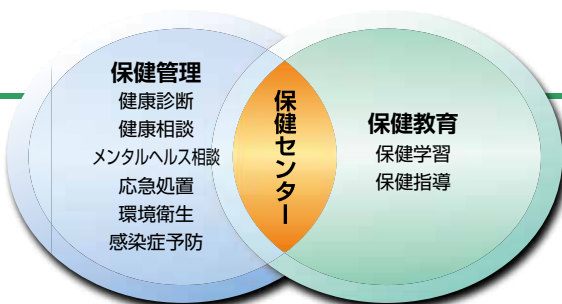
本物の健康とはどういうことでしょうか。WHO（世界保健機構）の表現では「健康というのは単に病気や虚弱ではなく、身体的にも精神的にも社会的にも調和のとれた安定した状態」を言っています。心とからだのどちらも調子が良く、友人と豊かな人間関係を築くことができ、一人ひとりが今持っている自分の力を十分に発揮できる…それが健康な状態であると思います。

さあ、もう一度自分自身を見つめてみませんか？

- 大学生活は生活習慣を形成する時期です。その中で最も気をつけたいのは食生活。栄養バランスや内容を意識した食事を心がけましょう。
- 勉強やスポーツ、趣味を楽しみ、豊かな感受性を育ててください。
- 自分に合った解消法で、ストレスと上手に付き合ひましょう。自分の心に栄養を与えることを忘れずに！

■ 学校保健

学校保健とは、学校教育が円滑に行われるための健康に関する教育的な諸活動です。



■ 保健センター

保健センターでは、学校医、学校精神科医、看護師があなたの「健康の自己管理」と「健康の保持増進」等の支援をしています。

開室時間：授業期間中

(月)～(金) 8:40～16:45

(土) 8:40～12:30

お問合せ・連絡先：TEL 03-5992-1258 (直通)

曜日	時間	担当学校医
月	14:00～16:00	村上 祐子
火	13:00～15:00	大越 敦
水	13:00～15:00	原 秀雄
第2・4火	9:30～11:30	濱田 庸子 (予約制) (メンタルヘルス相談)
第1・3金	14:00～16:00	柏倉 美和子 (予約制) (メンタルヘルス相談)

定期健康診断

毎年4月の初めに健康診断を実施しています。毎年必ず受けてください。

健康診断学年別項目

対象者	種類	身長 体重	血圧	胸部 X線	視力	尿 ※	聴力 (簡易)	内科診察	問診	心電図
1年生		●	●	●	△	●	●	●	●	▲
2・3年生		●	●	●	△	●	●	●	●	▲
4年生・大学院生 専門職大学院生		●	●	●	●	●	●	●	●	▲

※尿検査…(蛋白・ウロビリノーゲン・糖・潜血) ●…全員 ▲…必要者

※ 健康診断の結果は、後日 G-Port でお知らせします。精密検査が必要な場合は、学校医の面談や医療機関の紹介も行っています。

※ 健康診断を受けていないと、健康診断証明書の発行はできませんのでご注意ください。

健康相談

心やからだに関する心配ごとや、悩みごと、健康に関する相談など随時受け付けていますので、遠慮なく来室してください。学校医・学校精神科医・看護師が相談に応じています。専門診療の医療機関を希望される場合は紹介状の作成も行っております。

※ 相談内容や個人のプライバシーは厳守いたします。

こんな時どうする？

● 病気やケガでスポーツ・健康科学Ⅰ・Ⅱの授業が受けられないとき

学校医が医学的見地から健康状態を考慮し、TE 1 (軽運動)・TE 2 (講義) 授業の適否のアドバイスをします。手続きは次のとおりです。

- ① **主治医**の運動制限について書かれた診断書を保健センターに持参し、学校医の面談を受けてください。
- ② **学校医作成の診断書**および**主治医の診断書**を、スポーツ・健康科学センターに提出してください。

● 学内で病気になったり、ケガをしたとき

学校医および看護師が応急処置を行います。医療機関を紹介された場合、受診結果を保健センターに報告してください。なお、医療機関を受診する場合は、必ず健康保険証を持参してください。持参しない場合は、全額自己負担になる場合がありますので、留意してください。

● 学内で事故によるケガをしたとき (補償)

正課中、学校行事中及び課外活動中の事故でケガをしたとき、学生センター学生課で「学生教育研究災害傷害保険 (学研災)」の手続きができます。(学研災の詳細は 22 ページ参照)

● 健康診断証明書を請求したいとき

就職、進学、留学などに必要な証明書を発行します。ただし、**定期健康診断を受けなかった場合は発行できません。また一部でも未受診項目がある場合も発行できません。**

現在病気で通院中の場合、過去に病気や事故で休んだり、手術を受けた場合は、早めに保健センターで相談してください。

● 保健情報を活用したいとき

保健センターでは、COMPASS・掲示板・HP (学生生活・授業・就職) などで、必要に応じて広報活動を行っています。

またリーフレットなども備えています。

● 病気やケガで医療機関を受診したいとき

目白近辺の医療機関を次表に掲載しましたので、利用してください。

救急指定の医療機関を利用する場合は、事前に電話で状況等を説明し、指示に従ってください。

● 学校感染症 (第 2 種)

インフルエンザ・百日咳・麻しん (はしか)・流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)・風しん (三日はしか)・水痘 (水ぼうそう)・咽頭結膜熱 (プール熱)・結核・髄膜炎菌性髄膜炎に罹った場合は、保健センターまで電話連絡し、主治医の許可が得るまで登校しないでください。(※第 1 種、第 3 種においても上記に準ずる。※教員に対して欠席理由を説明する際の根拠資料として「登校許可書」も利用できます。詳細は学習院ホームページの「保健センター」をご参照下さい。)

学校は集団生活の場であるため、感染症の流行を防がなければなりません。決して個人だけの問題ではないので、感染症に罹ったときは早めに受診するようにしましょう。

各感染症の感染力が弱まる目安は下記の表のとおりです。

自分で判断せず、必ず医師と相談してください。

感染症名	感染力と登校の目安
インフルエンザ	発症後 5 日を経過し、かつ解熱後 2 日を経過していること。
百日咳	特有の咳が消失すること、または 5 日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了していること。
麻しん (はしか)	解熱後 3 日を経過していること。
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	耳下腺、顎下線又は舌下線の腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること。
風しん (三日はしか)	発疹が消失していること。
水痘 (水ぼうそう)	すべての発疹が痂皮化していること。
咽頭結膜熱 (プール熱)	主要症状が消退した後 2 日経過していること。
髄膜炎菌性髄膜炎	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで。
結核	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで。

● 予防接種

大学生になると、留学、アルバイト、実習、就職活動など今後活動する範囲は広がっていきます。自分の感染症罹患歴や予防接種の状況を確認し、不明な場合は抗体のチェックや予防接種を受けておきましょう。予防接種を受けた記録は、必ず残すようにして下さい。

■ 遠隔地被保険者証を作成しよう

親元から離れて生活する方は、「**遠隔地被保険者証**」（学生本人用健康保険証）を作成し、手元に持っておきましょう。

《手続き》

保護者が加入している保険機関に、在学証明書添えて請求してください。なお、この保険証は毎年更新され、再交付にも在学証明書が必要です。

■ 24 時間体制 [救急指定]

東京女子医科大学病院	03-3353-8111 (代)	新宿区河田町 8-1
国立国際医療研究センター	03-3202-7181 (代)	新宿区戸山 1-21-1
東京医科大学病院	03-3342-6111 (代)	新宿区西新宿 6-7-1
日本医科大学付属病院	03-3822-2131 (代)	文京区千駄木 1-1-5
日本大学医学部付属板橋病院	03-3972-8111 (代)	板橋区大谷口上町 30-1
東京山手メディカルセンター (社会保険中央総合病院)	03-3364-0251 (代)	新宿区百人町 3-22-1
大同病院	03-3981-3213 (代)	豊島区高田 3-22-8
春山記念病院	03-3363-1661 (代)	新宿区百人町 1-24-5
目白病院	03-3953-9909 (代)	新宿区下落合 3-22-23

■ 24 時間医療機関

東京消防庁救急相談センター	下記参照
東京都保健医療情報センター (ひまわり)	03-5272-0303

■ 最新情報を入手できるホームページ

厚生労働省検疫所	http://www.forth.go.jp/index.html
外務省海外安全ホームページ	http://www.anzen.mofa.go.jp
厚生労働省感染症・予防接種情報	http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/yobou-sesshu/
国立感染症研究所感染症情報センター	http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html
東京都健康安全研究センター	http://www.tokyo-eiken.go.jp/



■ 東京消防庁 救急相談センター (24 時間対応)

- 症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
 - 受診の必要性に関するアドバイス
 - 医療機関の案内
- 119 番する前に「#7119」(携帯電話・PHS・プッシュ回線)を利用してみましょう。
- 23 区 : 03-3212-2323**
多摩地区 : 042-521-2323

医療機関		診療時間	休診日	住 所	
内科・外科・整形外科・婦人科・他	竹下医院 (内科・小児科・婦人科) TEL: 03-3200-1281	平日 / 9:00~12:00 16:00~18:00 土 / 9:00~12:00	水・日・祝 火・土午後	新宿区高田馬場 2-14-22 ①	
	めじろ内科クリニック (内科・消化器科・リハビリ科・整形外科) TEL: 03-3953-5831	平日 / 9:00~12:30 14:30~18:30 木 / 14:30~20:00 土 / 9:00~12:30 (整形外科 第1~3、5金 14:30~17:30のみ)	火・土午後 木 午前 日・祝	豊島区目白 3-5-11 NOBビル3階 ②	
	目白整形外科内科 (整形外科・内科・リウマチ科・リハビリ科) TEL: 03-5960-7800	平日 / 9:00~12:00 14:30~18:00 土 / 9:00~12:00 ※土曜日は整形外科のみ	日・祝 土午後	豊島区目白 2-38-2 ③	
	清水クリニック (内科・皮膚科・内科・皮膚科・リハビリ科) TEL: 03-3980-8182	平日 / 9:00~13:00 15:00~19:00 土 / 9:00~13:00 ※診療科目により時間が異なります	日・祝 水・土午後	豊島区雑司ヶ谷 3-7-3 清水ビル BELLEVUE 目白2階 ④	
	大越外科医院 (外科・皮膚科・循環器科・内科・レントゲン科) TEL: 03-3971-3012	平日 / 9:00~12:30 15:30~19:00 土 / 9:00~14:00	日・祝・木 土午後	豊島区東池袋 2-26-4	
	目白おかの内科 (内科・胃腸科・呼吸器科) TEL: 03-5988-3363	平日 / 9:00~12:30 15:30~19:00 土 / 9:00~12:30	日・祝 水 午前 土午後	豊島区目白 3-16-15 茜ビル1階 ⑤	
	目白病院 (内科・外科・脳外科・整形外科・麻酔科・放射線科) TEL: 03-3953-9909	9:00~12:00 14:00~17:00	日・祝 第2・4・5土	新宿区下落合 3-22-23 ⑥	
	原内科クリニック (内科) TEL: 03-3955-2219	平日 / 9:00~12:00 16:00~18:30 土 / 9:00~12:00	日・祝・水 土午後	豊島区高松 2-48-7	
	歯科	目白ハイマート歯科 TEL: 03-5950-1426 <予約制>	平日 / 9:30~13:00 14:00~18:30 土 / 9:30~13:00 14:00~17:30	日・祝	豊島区目白 2-39-1 トラッド目白2階 ⑦
		眼科	ニジジョウ 西條眼科医院 TEL: 03-3565-1090	平日 / 9:00~12:30 15:00~18:00 土 / 9:00~12:30	日・祝 水 土午後
目白眼科 TEL: 03-3952-7262	平日 / 10:00~12:45 15:00~17:30 土 / 10:00~12:45		日・祝 木 土午後	新宿区下落合 3-17-30 佐伯ビル2階 ⑨	
目白通りクリニック TEL: 03-5906-0755	平日 / 9:00~12:00 15:00~18:00 土 / 9:00~12:00 ※水は 19:00まで		日・祝 木・土午後	新宿区下落合 3-15-20 目白大和田マンション1階 ⑩	
耳鼻咽喉科	目白耳鼻咽喉科 (耳鼻咽喉科・アレルギー科) TEL: 03-5954-4133	平日 / 9:00~12:30 15:00~19:00 土 / 9:00~12:30 14:00~17:00	日・祝 木	豊島区目白 2-5-27 目白邸苑ビル2階 ⑪	
	目白駅前たけしクリニック (内科・耳鼻咽喉科・アレルギー科・循環器科) TEL: 03-3987-6155	9:30~12:30 14:30~18:30 内科・循環器科は火・金・土・日のみ	日 午後 土 午後 木・祝	豊島区目白 3-4-13 大熊ビル2階 ⑫	
皮膚科	山田皮膚科 TEL: 03-3953-1270	平日 / 9:00~12:30 15:00~18:00 金 / 9:00~12:30 15:00~20:00 土 / 9:00~12:30	日・祝 土午後	豊島区目白 3-2-10 目白駅前柳屋ビル1階 ⑬	
	ちとせばし皮膚科・形成外科 (皮膚科・形成外科) TEL: 03-3986-2277	平日 / 9:00~12:30 15:00~19:00 土 / 9:00~12:30 14:00~17:00	日・祝 木	豊島区目白 2-5-27 目白邸苑ビル2階 ⑭	
精神科・心療内科	心の杜・新宿クリニック TEL: 03-5848-7712	9:00~12:00 13:00~16:30 16:30~20:00	日・祝 木 午前	渋谷区代々木 2-12-1 記録映画社ビル3階	
	池袋西口メンタルクリニック TEL: 03-5954-0323	平日 / 9:30~12:30 15:00~18:30 土 / 9:30~12:30	日・祝・水 土午後	豊島区池袋 2-14-5 丸十ビルII 4階 ⑮	
	北新宿ガーデンクリニック TEL: 03-5348-8914	10:00~13:00 14:00~17:00 18:00~21:00 ※水曜夜間、木曜午前は電話予約のみ	土 夜間 日・祝	新宿区北新宿 2-21-1 新宿フロントタワー3階 新宿メディカルモール	

※ 診療時間の変更がある場合があります。受診前の確認をお勧めします。

保 険

■ 学生教育研究災害傷害保険 《全学生自動加入》

【窓口】 学生センター学生課

学生が災害にあったときのために、保険料を本学が全額負担し、学生全員を被保険者とする学生教育研究災害傷害保険（学研災）Bタイプ（特約なし）に加入しています。

保険対象

- ① 正課中・学校行事中（治療日数が1日から対象となります。）
 - ② 上記以外で学校施設内にいる間・学校施設外での課外活動（クラブ活動）中（治療日数が14日以上の場合が対象となります。）
 - ③ 上記①②について入院1日目から（180日を限度）
- ※ 通学路途中での事故は対象外です。
※ 事故にあった日から20日以内に学生センター学生課へ「事故届」を提出してください。（事故日から30日以内に保険会社へ「事故通知」を提出しないと、無効となることがあります。）

■ 学生総合補償制度 《希望者のみ加入》

【窓口】 (株) 学習院蓁々会

キャンパスライフを幅広く補償する保険ですが、加入は任意です。
学校法人学習院を保険契約者とする団体契約のため**団体割引15%**が適用され、保険料が割安です。

補償内容

① 学生本人の補償（国内・外とも補償）

偶然な事故によるケガで、入院・手術・通院をした時、後遺障害発生または死亡した時の補償です。病気による入院・手術の補償プランもあります。

② 学資費用・育英費用の補償（国内・外とも補償）

扶養者が不慮の事故によるケガで死亡の場合、または重度後遺障害の場合、学資費用・育英費用を補償します。病気死亡を補償するプランもあります。

③ 損害賠償事故の補償（国内・外とも補償）

偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の財物に損害を与えて法律上の賠償責任を負った場合の補償です。自転車運転中やアルバイト、インターンシップ中の事故も対象となります。

④ 天災危険補償

地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガの場合も傷害保険金、育英費用保険金、学資費用保険金をお支払いします。

上記①～④はセット加入です。他に下宿生用のプランもあります。詳しくはパンフレットをご覧ください。

こまったときには

大学生活は楽しい刺激にあふれていますが、一方で、学業、進路、対人関係などさまざまな悩みの種もあります。どんな丈夫な人でも風邪をひくことがあるように、どんな人でも悩みを抱えることはあるものです。

軽い悩みなら、自分自身で、あるいは、周囲の人と相談するなかで自然に解決できるでしょう。けれど、悩みや不安が自分一人には重すぎると少しでも感じたら、学生相談室を利用してください。多くの学生の悩みに対応して解決してきた経験豊富な専門のカウンセラーがあなたの手助けをします。

深刻な悩みでなくても、ただ、誰かに話を聴いてもらいたい、一緒に考えてもらいたいといった相談でもかまいません。ともかく、不安で落ち着かないときには、学生相談室のドアを気軽にノックしてください。受付で予約をとればカウンセラーと相談できます。電話での予約も大丈夫です。

いざというときには学生相談室がついています。どうか安心して大学生活を楽しんでください。

■ たとえばこのような相談を受けています

学業	<ul style="list-style-type: none"> ● 大学での授業に興味を持てない ● 単位の取り方や勉強の仕方が分からない ● 集中力が低下して、ぼーっとしてしまう 	生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎日がつまらない ● 大学に居場所がない ● 食生活が乱れがちで困っている ● 朝なかなか起きられない ● 整理整頓、片付けができない ● どうしても時間が守れない
進路	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来どんな方向に進むか迷っている ● 目標がなかなかみつからない 	対人関係	<ul style="list-style-type: none"> ● 人とうまく話せない ● 人に気をつけて疲れてしまう ● 同世代の友人ができてにくい
こころ	<ul style="list-style-type: none"> ● 無気力でやる気がしない ● 不安で気持ちが落ち着かない ● 自分の性格について考えてみたい ● 人中で緊張しやすく、人目が気になる 		

相談の内容は様々です。どんなことでも遠慮なくご相談ください。
必要に応じて、学内の関係部署や、外部の専門機関などをご紹介します。
スタッフには厳しい守秘義務があります。
プライバシーはしっかり守られますので、安心してご利用ください。

■ 相談室の利用

● 相談受付時間

平日 9:30 ~ 17:00 土曜日 9:30 ~ 12:30

● 場所：中央教育研究棟2F

● 電話：03-5992-1062

● スタッフ

相談室長 荒川 正明（文学部教授）

相談員（カウンセラー・臨床心理士）高橋 道子／細谷 紀江／北山 純

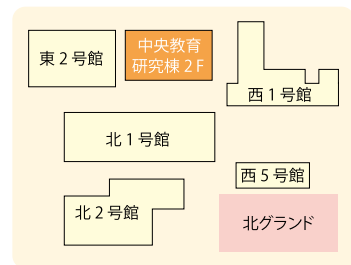
非常勤相談員（カウンセラー・臨床心理士）小野 貴子／永岡 紗和子

● 相談室委員

村主 道美（法学部教授）／白田 由香利（経済学部教授）／金田 智子（文学部教授）

宇田川 将文（理学部准教授）／牧田 りえ（国際社会科学部教授）

羽田 雄一（スポーツ・健康科学センター教授）



利用の仕方

相談の予約を直接、受付または電話でとってください。
お急ぎの場合は、なるべく早くに相談に応じられるよう調整しますので、まずは学生相談室までご連絡ください。

相談以外の利用

- 図書貸し出し、閲覧
心理関係の図書の他にも、学生生活に役立つ各種図書があります。
- ビデオ視聴 自律訓練法等
- 各種セミナー・講演会・グループワークを開催します。

障がい学生支援

■ 学生生活全般へのサポート

【窓口】 学生センター学生課

学生センター学生課では、希望者を対象に面談を実施し、学生生活を送る上で不便な点や支援要望等をお聞きしています。面談の内容や障がいの種類・状況に応じて、充実した学生生活が送れるように環境整備に努めています。

学生生活全般で困っていることがありましたら、学生センター学生課にご相談ください。

■ 奨学金によるサポート

【窓口】 学生センター学生課

障がいを持つ学生が、在籍中に支援が必要となる事由が発生した場合、「学習院身体障害者支援給付援助金細則」の規程に基づき、経済支援を行っています。

■ 授業へのサポート

【窓口】 学生センター教務課

本人の希望や、障がいの種類・程度に応じて相談の上、支援を行っています。支援内容を検討するために、診断書等の提出を求める場合があります。各授業担当教員には、障がい学生が履修することを連絡し、内容について打合せた後に、必要な配慮を文書等で依頼します。授業形態等により、各科目によって支援内容が異なる場合もあります。

障がいの種類	授業における配慮内容例	試験における配慮内容例
視覚障がい	<ul style="list-style-type: none">● 板書内容の復唱等● 教科書の点訳手配● 授業で使用する教材のテキストデータ提供● 必要な補助具の持込許可● 点字による教室名表示（各入口扉）	<ul style="list-style-type: none">● 点訳問題による試験実施● 別室受験・試験時間延長
聴覚障がい	<ul style="list-style-type: none">● 座席指定● スライド・板書・レジュメ等視覚情報による授業内容の伝達	<ul style="list-style-type: none">● 座席指定● 注意事項等の文書による伝達
肢体不自由	<ul style="list-style-type: none">● 座席指定● 専用機の使用● 教室階数配慮	<ul style="list-style-type: none">● 座席指定

※ 上記以外の障がいについても、本人と相談のうえ、支援を行っています。

住まいの紹介

【窓口】(株) 学習院薬々会

住居を探している人のために、本学では(株)学習院薬々会を窓口として貸室の紹介を行っています。新入学生行事日程表とともに送付した冊子「住まいのご案内」、または学習院薬々会ホームページを参照してご利用ください。

■ 利用手順

- 新入学生宛配布の冊子「住まいのご案内」にある各物件連絡先に問い合わせる。(新入生のみ)
- ホームページを閲覧し画面から紹介の希望を発信する。(又は、提携会社へ電話する)
〈学校法人学習院トップ〉→〈(株)学習院薬々会〉→〈学習院住まいナビ〉
- 後日、提携会社から連絡が入ります。希望の物件をよく確認の上、ご検討ください。
- 学習院住まいナビ <http://g-shinshinkai-sumai.com/>

■ 学習院推奨マンション2棟のご案内

詳しい情報は、学習院住まいナビでご確認いただけます。

- グラディート中板橋
(目白駅まで電車 9分、東武東上線中板橋駅徒歩 2分)
- ヴィンテージ氷川台
(目白駅まで電車 10分、東京メトロ有楽町線・副都心線氷川台駅徒歩 2分)



- 物件問合先 UniLife 池袋店 電話：0120-975-661

■ 部屋探しのポイント

● 家賃の予算を決める

生活には住居・食費・勉強関連費・娯楽費・被服費等がかかります。家賃は全体予算の3分の1程度に抑えることが目安となります。

● 住まいの種類を決める

学生寮・学生マンション・アパート等の中から、自分に適した物件をよく考えて選ぶことが快適な学生生活を送るための第一歩となります。

● 住環境

商店街・コンビニ・スーパー・飲食店・銀行・病院・郵便局、さらに物件の広さ・日当たり・騒音・安全設備・最寄駅などを確認してください。

■ 『株式会社 学習院薬々会』 とは…

株式会社 学習院薬々会は、幅広い事業活動を通じ、学生と教職員の皆様へ質の良いサービスを提供して、教育研究の充実に資することを目的に、学校法人学習院の100%出資により設立された会社です。

主な事業内容

- 住まいの紹介 (※ 本ページ参照)
- 貸衣装 (卒業式用) の斡旋
- 任意で加入する保険のご案内 (※ 22 ページ参照)
- その他 (※ 65 ページ表参照)

「薬々会」という名称は、故安倍能成院長が、会の成長を祈って、詩経にある「桃の夭々タル 其ノ葉薬々タリ」より命名したものです。

(株)学習院薬々会 電話：03-5979-7767

E-mail：info-kabu@g-shinshinkai.co.jp

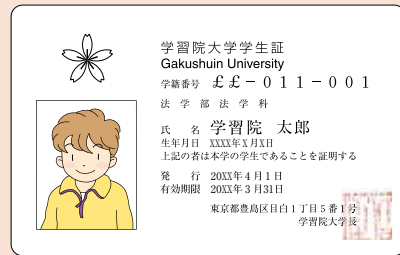
■ 学生証

学籍番号

転部・転科をした場合以外は卒業するまでかわりません。

£	£	-	0	1	1	-	0	0	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

入学年度別（西暦の下二桁）
学部（学科）コード
大学院・法科大学院（研究科・専攻）コード
個人番号



有効期限

有効期限は、入学時発行後最短修業年限です。留年・休学等により有効期限切れになった学生証は、年度始めに学生センター教務課窓口で新しい学生証と交換してください。

次の場合は学生証を返還しなければなりません。

- (1) 退学・除籍で学籍を失ったとき。
- (2) 再発行を受けたのち、前の学生証が見つかったとき。（前の学生証は返還すること）

紛失・破損したとき

紛失・破損したときや盗難にあったときは、直ちに学生センター教務課窓口へ届け出て、再発行の手続きをしてください。手続後、3日後に再発行します。

なお、手続きには、手数料 2,000 円と印鑑の押印が必要です。

呈示が必要なとき

- (1) 試験を受けるとき。
- (2) 図書館に入館・退館するとき、本を借りるとき。
- (3) 各種証明書の交付を受けるとき。
- (4) 通学定期券や学割乗車券を購入するとき。
- (5) トレーニングルームを利用するとき。
- (6) その他、本学教職員から要求されたとき。

記載事項の変更

改氏名、転部・転科、漢字の変更など記載事項に変更があった場合は、直ちに学生センター教務課窓口へ届け出てください。

取り扱い上の注意

- (1) 在学中携帯するものなので、ケース等に入れ、丁寧に取り扱いってください。
- (2) 折り曲げたり、傷をつけたり、シール等を貼付したりしないでください。

■ Edy について

学生証には、Edy 機能（電子マネー）が搭載されています。

- (1) 学内でのチャージ（入金）は、輔仁会館 2 階のセブン・イレブンで行ってください。
- (2) チャージ上限金額は、50,000 円です。
- (3) 学生証を紛失した場合、チャージ金額は保証（補填）されません。
- (4) 有効期限切れ・改氏名等で学生証を再発行する場合、チャージ金額は引き継がれません。再発行前に、必ずチャージ金額を使い切ってください。
- (5) 利用約款は、下記の URL で確認してください。

<http://www.rakuten-edy.co.jp/howto/terms/>

■ 通学定期券の購入について

- (1) 通学定期券の購入には、学生証と**通学定期乗車券発行控**が必要です。
- (2) 電車の場合は、最寄りの定期券発売駅で、学生証と通学定期乗車券発行控を呈示して、直接購入することができます。
- (3) 通学区間は、**目白駅または雑司が谷駅（副都心線）から現住所までの最短区間とし、遠回りや目白駅または現住所より先の駅までの区間の定期券は購入できません。**
- (4) バス乗車のために別途通学証明書が必要な場合は、学生センター教務課に申し出てください。
- (5) 乗車券発行控は、1年生には学生証と一緒に交付します。**2年生以上は、学生センター教務課窓口で交付していますので、各自受け取りにきてください。**
- (6) 通学定期乗車券発行控欄が埋まったときや紛失したときは、学生センター教務課で交付します。
- (7) 住所や、通学区間を変更したときは速やかに学生センター教務課へ届け出、学長の訂正印を受けてください。

学科コード一覧

大 学		
学 部	学 科	コード
法	法	011
	政治	012
経済	経済	021
	経営	022
文	哲	031
	史	032
	日本語日本文学	033
	英語英米文化	034
	ドイツ語圏文化	035
	フランス語圏文化	036
	心理	037
理	教育	038
	物理	041
	化学	042
	数学	043
国際社会科学	生命科学	044
	国際社会科学	051

専門職大学院（法科大学院）		
研究科	専 攻	コード
法務	法務	811

その他		
所属	身 分	コード
学部	研究生	092
	委託生	093
	科目等履修生	095
大学院	研究生	192
	委託生	193
専門職大学院	科目等履修生	195
	法務研修生	891
	法務研究生	892

大学院					
研究科	専 攻	課 程	コード		
法学	法律学	}	111		
	政治学		112		
	経済学		121		
	経営学		122		
	人文科学		哲学	131	
			美術史学	13A	
			史学	132	
			日本語日本文学	133	
			英語英米文化	134	
			ドイツ語ドイツ文学	博士前期	135
			フランス文学	136	
			心理学	137	
			教育学	138	
			臨床心理学	13D	
	アーカイブズ学	13B			
	身体表象文化学	13C			
自然科学	物理学	141			
	化学	142			
	数学	143			
	生命科学	144			
法学	法律学	}	211		
	政治学		212		
	経済学		221		
	経営学		222		
	人文科学		哲学	231	
			美術史学	23A	
			史学	232	
			日本語日本文学	233	
			英語英米文化	234	
			ドイツ語ドイツ文学	博士後期	235
			フランス文学	236	
			心理学	237	
			教育学	238	
			臨床心理学	23D	
	アーカイブズ学	23B			
	身体表象文化学	23C			
自然科学	物理学	241			
	化学	242			
	数学	243			
	生命科学	244			

証明書

■ 証明書自動発行機

在学生の証明書は**証明書自動発行機**より発行します。証明書の発行を受けるときは学生証が必要です。

場 所：中央教育研究棟 1F、西5号館 4F

利用時間：授業のある日 月曜日～金曜日 8:40～18:00

※但し 16:45～18:00 までは無人稼働

※西5号館 4F の証明書自動発行機は、16:45 で停止します。

土曜日 8:40～12:30

授業のない日 月曜日～金曜日 8:40～16:45

土曜日 8:40～12:30

(長期休業や行事等で時間の変更がある場合は、その都度掲示等でお知らせします。)

自動で発行される証明書

- 成績証明書 (和文・英文)
- 在学証明書 (和文・英文)
- 卒業見込/修了見込証明書 (和文・英文) ※
- 学割証
- 健康診断証明書 (和文)

※ 卒業見込証明書は、学部4年生の年度始め時点で、卒業に必要な単位数の不足が48単位以下の場合に発行できます。

パスワード

自動的に生年月日の月日の4桁に初期設定されています。(例：5月1日→0501)

セキュリティ保持のため、パスワードの変更画面に従ってパスワードを変更することをおすすめします。

手数料 (在学生)

和文証明書1通 100円、英文証明書1通 300円

※学割証、推薦状(就職用)は無料。

※次の場合は在学生の手数料を適用します。

- 卒業および修了が確定している学生で、卒業・修了発表以降当該年度中に卒業証明書、学位取得証明書、成績証明書を請求する場合。
- 学部を卒業、または大学院前期を修了した学生で、引き続き本学に進学し、在学中に以前の卒業証明書、学位取得証明書、成績証明書を請求した場合。

学校学生生徒旅客運賃割引証 (学割証)

学割証について

旅客鉄道株式会社(JR各社)が指定した学校の学生が、旅客鉄道株式会社の営業キロで100キロメートルを超える区間を乗車する際に、運賃が2割引になる制度です。

学割証を使用する目的

学割証は、学生の自由な権利として使用することを前提としたものではなく、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的として実施されている制度です。次の目的をもって旅行する必要があると認められる場合に限り、発行することができます。

【帰省】

休暇、所用による帰省

【正課教育】

実験実習並びに通信による教育を行う学校の面接

授業及び試験などの正課の教育活動

【正課外教育活動】

学校が認めた特別教育活動又は体育・文化に関する正課外の教育活動

【就職・受験】

就職又は進学のための受験等

【見学】

学校が修学上適当と認めた見学又は行事への参加

【傷病治療】

傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理

【保護者旅行随伴】

保護者の旅行への随伴

発行方法……証明書自動発行機から発行します。

有効期限……発行日より3ヶ月間

※ 学割証の有効期限をよく確認し、期限切れの学割証を駅窓口に提出することは、厳に慎んでください。

■ その他の証明書（申し込み手順）

- (1) 証明書自動発行機で**申込書**を購入してください。
- (2) 申込書を取り扱い窓口へ提出してください。

証明書の種類		発行日 ※受付日・日祝祭日は除く	取扱窓口
調査書（大学院受験用）	和文	3日後	学生センター教務課
授業科目履修証明書	和文・英文	和文：2日後 英文：3日後	
博物館学芸員資格取得証明書	和文・英文	和文：2日後 英文：7日後	学芸員課程事務室
博物館学芸員資格取得見込証明書	和文	2日後	
博物館に関する科目の単位修得証明書			
学力に関する証明書	和文	7日後	教職課程事務室
教員免許状取得見込証明書		2日後	
人物証明書（教職関係）		3日後 原則卒業後10年以内の者、かつ発行には指導教員の承諾を要しますので、事前に教職課程事務室までお問い合わせください。	
健康診断証明書（指定用紙含む）	和文・英文	和文：即日 英文：2～5日後（原則として）	保健センター
推薦状（就職用）※無料	和文	キャリアセンター窓口にお問い合わせください。	
卒業証明書	和文・英文	即日	学生センター教務課
学位取得証明書			
成績証明書（卒業生・修了生）			
	和文	即日	
	英文	平成9年度以降の卒業生：即日 平成8年度以前の卒業生：7日後	
その他の証明書	学生センター教務課窓口にお問い合わせください。		

■ 団体旅行申込書 押印願について

【窓口】学生センター学生課

学生団体乗車券購入にあたり、鉄道会社や旅行代理店の「団体旅行申込書」に押印を希望する場合は、学生課備付の「団体旅行申込書押印願」を学生課に提出してください。

※ただし、教員が引率する学校行事、課外活動に限ります。

■ 休学

- (1) 病気その他やむを得ない理由により3ヶ月以上欠席したいときは、事前に本学所定の「**休学願**」を提出して許可を受けることが必要です。なお病気を理由とする場合は、必ず加療期間明記の医師の診断書を添付してください。
- (2) 休学期間は1年以内とします。ただし、特別の理由により引き続き休学を必要とする場合には、再度願い出ることによって、さらに1年間（博士後期課程では2年間）を限度に休学期間を延長することができます。
- (3) 休学期間は在学年数に算入しませんので、原則として留年となります。
- (4) 休学期間中の授業料、施設設備費及び研究実験費は免除となり、在籍料または在籍料相当額の納付が必要となります。
- (5) 休学理由が消滅した場合、休学期間の開始日から3ヶ月以内に「**休学期間変更願**」を提出することにより遡って休学許可を取り消すことができます。
- (6) 休学に伴う授業科目の履修及び単位認定の取扱いについては、履修要覧を参照してください。

【学則第35、36、37、38、67条】

■ 復学

病気により休学した者で、休学期間を終了する場合は、復学の手続きとして本学所定の「**出校願**」を提出してください。その際、**必ず出校に差し支えない旨を記した医師の診断書を添付してください。**

なお、病気以外の理由による休学から復学する場合には、手続きは必要ありません。

■ 退学

- (1) 退学したいときは、事前に本学所定の「**退学願**」を提出し許可を受けることが必要です。なお、病気を理由として退学したい場合には、医師の診断書を添付してください。
- (2) 「退学願」を窓口に提出する前に、指導教員等に相談し、承認印をもらってください。
- (3) 退学するにあたっては、希望する退学期日の該当期分の授業料等納付金を納めていなければ、認められません。
- (4) 「退学願」の提出と共に学生証を返却してください。

【学則第39条】

■ 除籍

次の場合は除籍になります。

- (1) 学則で定められた在学年数を越えた場合。
- (2) 授業料その他の納付金を滞納し、督促を受けても納付しない場合。

【学則第71条】

■ 留学

外国の大学へ留学する場合は、「**留学願**」を教務課へ提出し、学長の許可を受けることが必要です。詳細については、履修要覧の「学部学生の留学に関する内規」を参照してください。

【学則第41条】

■ 再入学

【窓口】アドミッションセンター

本学を退学した者が再入学を希望するときは、選考の上、退学時に在籍していた学科に限り、学年の始め（4月）から再入学を認めることがあります。なお、除籍者は再入学することができません。

【学則第34条】

■ 転部・転科

入学後1年以上経過し、他の学部・学科への転部・転科を希望する場合は、願い出により、学年の始めに限り、選考の上許可することがあります。

願い出に際しては予め所属学科の学科主任および指導教授に相談し、12月中旬頃までに教務課窓口にて相談してください。

【学則第33条】

■ 住所・電話番号の変更

本人の住所・電話番号を変更した際には、各自がG-Portにて変更登録してください。

保証人の住所・電話番号を変更した際には、直ちに本学所定の「**保証人住所変更届**」を提出してください。大学から保証人に連絡を取るために必要な情報ですので、必ず提出するようにしてください。

なお、住所変更に伴い手続きが必要なもの（通学定期乗車券発行控・奨学金関係等）がある場合には申し出てください。

■ 保証人変更

入学手続き時に届け出た保証人が、死亡などでその責務を負えなくなった場合には、本学所定の「**保証人変更届**」を提出してください。

■ 氏名の変更

氏名を変更したときは、戸籍抄本を添付して本学所定の「**改氏名届**」を提出してください。併せて、新氏名による学生証の再発行手続きを行ってください。

学 費

■ 納付期限

納付期限

第1期分……5月1日までに振込

第2期分……10月2日までに振込

※授業料、その他納付金の納入を怠り、督促を受けても納付しない者は、大学学則第71条、大学院学則第36条及び専門職大学院学則第24条により除籍となります。

学費振込依頼書の郵送先と発送時期

入学手続き類に記載の保証人宛に送付します。保証人の変更および住所変更をする場合は、学生センター教務課に変更届を提出してください。

【発送時期】 第1期分……4月中旬 第2期分……9月中旬

※1年次に限り、第1期分は入学手続き時に納入

納入方法

【窓口】 会計課

本学では1年間の授業料等を2回に分けて徴収しています。なお2年次からは、年額（第1期分・第2期分）を一度（第1期納入時）に納付することもできます。

- 本学所定の「学費振込依頼書」を用い、銀行窓口で振り込んでください。
- 「学費振込依頼書」を紛失した場合は、会計課に再発行を依頼してください。

※やむを得ずATM等銀行窓口以外で振り込む場合は、振込依頼書に記載した指示に従ってください。

授業料等納付金の延納

【窓口】 学生センター学生課

願い出により、やむを得ない事由があると認められた場合に限り、授業料等納付金の延納を認めることがあります。

納付期限までに納入できない時には、「**納付金延納願**」を学生センター学生課で受け取り、提出してください。

同願出提出期限は、納付期限までとし、延納を認める期限は、第1期分は8月31日まで、第2期分は1月31日までとします。（当該日が金融機関休業日にあたる場合は、翌営業日とします）

平成 29 年度入学者 学費一覧表

(単位 円)

区 分	項 目	合 計	分納額・分納期		※ 入学金	※ 在籍料	授 業 料			※ 施設設備費	※ 父母会費	※ 職人会費	※ 新設代	※ 学生会費	
			入学手続時	第 2 期			※ 第 1 期	第 2 期	計						
学 部	法学部	1,240,300	897,300	343,000	200,000	60,000	343,000	343,000	686,000	280,000	5,000	6,300	500	2,500	
	経済学部	1,237,800	894,800	343,000	200,000	60,000	343,000	343,000	686,000	280,000	5,000	6,300	500		
	文 学 部	哲学科・史学科 日本語日本文学科 英語英米文化学科 ドイツ語圏文化学科 フランス語圏文化学科	1,313,800	928,800	385,000	200,000	60,000	385,000	385,000	770,000	270,000	5,000	6,300	500	2,000
		心理学科 教育学科	1,343,800	958,800	385,000	200,000	60,000	* 30,000 415,000	385,000	* 30,000 800,000	270,000	5,000	6,300	500	2,000
		物理学科 化学科 生命科学科	1,765,800	1,223,800	542,000	200,000	60,000	* 80,000 622,000	542,000	* 80,000 1,164,000	330,000	5,000	6,300	500	
		数学科	1,685,800	1,143,800	542,000	200,000	60,000	542,000	542,000	1,084,000	330,000	5,000	6,300	500	
	国際社会科学部	1,446,800	994,300	452,500	200,000	60,000	452,500	452,500	905,000	270,000	5,000	6,300	500		
	大 学 院	法学・政治学	859,700	605,700	254,000	150,000		254,000	254,000	508,000	198,000		1,200		2,500
		経済学・経営学	857,200	603,200	254,000	150,000		254,000	254,000	508,000	198,000		1,200		
		博士前期課程	人文科学	853,200	598,200	255,000	150,000		255,000	255,000	510,000	190,000		1,200	
心理学・臨床心理学 教育学以外			883,200	628,200	255,000	150,000		* 30,000 285,000	255,000	* 30,000 540,000	190,000		1,200		2,000
心理学・臨床心理学 教育学			843,200	603,200	240,000	150,000		* 30,000 270,000	240,000	* 30,000 510,000	180,000		1,200		2,000
自然科学			1,105,200	761,200	344,000	150,000		* 70,000 414,000	344,000	* 70,000 758,000	196,000		1,200		
博士後期課程		実験	1,035,200	691,200	344,000	150,000		344,000	344,000	688,000	196,000		1,200		
		理論	1,035,200	691,200	344,000	150,000		344,000	344,000	688,000	196,000		1,200		
		法学・政治学	819,700	579,700	240,000	150,000		240,000	240,000	480,000	186,000		1,200		2,500
		経済学・経営学	817,200	577,200	240,000	150,000		240,000	240,000	480,000	186,000		1,200		
		心理学・臨床心理学 教育学以外	813,200	573,200	240,000	150,000		240,000	240,000	480,000	180,000		1,200		2,000
		心理学・臨床心理学 教育学	843,200	603,200	240,000	150,000		* 30,000 270,000	240,000	* 30,000 510,000	180,000		1,200		2,000
自然科学		実験	1,055,200	730,200	325,000	150,000		* 70,000 395,000	325,000	* 70,000 720,000	184,000		1,200		
		理論	985,200	660,200	325,000	150,000		325,000	325,000	650,000	184,000		1,200		
専門職大学院 法務研究科	1,451,200	894,200	557,000	150,000		557,000	557,000	1,114,000	186,000		1,200				

実験 = 物理専攻 (理論研以外)・化学専攻・生命科学専攻

理論 = 物理学専攻 (理論研)・数学専攻

※は、入学手続時徴収分です。*は、研究実験費であり、授業料に含みます。

- 注意**
1. 在籍料、授業料および施設設備費については、卒業まで同額とします。
 2. 在籍料、授業料および施設設備費以外の納付金に変更があった場合には、新たに定められた金額を納付するものとします。
 3. 本学大学院博士前期課程を修了後直ちに博士後期課程に進学した者の入学金は免除します。
 4. 平成 29 年度以降、法務研究科において学会が設立された場合、新たに学生会費を徴収します。

大学生については、上記納付金のほかに、校友会基本会費 (永年同窓会費：徴収は 1 回のみ) 35,000 円を入学後 3 年目の学費第 1 期分にて徴収いたします。ただし、編入学者、再入学者、外国人学生特別入試入学者については、校友会が入手続後または在学中に徴収します。校友会基本会費に関するお問合せは、校友会事務局にご照会願います。校友会事務局 03-3988-3288 学習院目白キャンパス内

その他資格取得の場合の納付額 (教職課程・学芸員) (平成 29 年度)

教職課程： 教職課程履修費 A	履修者全員	15,000 円
介護等体験費	小・中学校の免許状取得希望者	10,260 円
教職課程履修費 B	(注 1)	

(注 1) 教育実習校により、教職課程履修費 B (教育実習謝礼金相当) が必要になる場合があります。

その場合、3 週間実習では 15,000 円、2 週間実習では 10,000 円が一応の目安となっています。

学芸員： 博物館に関する科目履修費	履修開始年度 4 月に、10,000 円
博物館実習履修費	履修開始年度 4 月に、5,000 円

事務手続き

本学では経済援助および学業奨励のため、奨学金制度を設けています。学生生活の経済的基盤を確保するため、自身の能力向上のために活用してください。

■ 奨学金

奨学金には、給付（返還義務のないもの）と貸与（返還義務のあるもの）の二種類があります。

奨学金手続きの流れ

奨学生の募集や採用結果などの通知は、原則として掲示で行います。

学生センター学生課掲示板（西1号館北側掲示場・中央教育研究棟1階）にて確認してください。

募集の掲示を見る
説明会に出席する

奨学金の募集・連絡は原則として掲示又はポータルサイト（G-Port）で行います。希望者はポータルサイト（G-Port）にメールアドレスの登録をしてください。説明会を実施する奨学金を希望する場合は、必ず説明会に出席してください。

申込書を受け取る

説明会のみで配付する場合と学生課窓口で配付場合があります。

申請する（申込書の提出）

奨学金の種類によって、申請時期及び提出書類が異なりますので、必ず事前に確認してください。

採用通知

採否結果は原則として掲示でお知らせします。

手続書類を受け取る
採用者説明会に出席する

手続書類は、説明会または学生課窓口で配付します。採用者説明会を実施する奨学金については、採用者説明会にて手続書類を配付しますので、採用が決まった場合は必ず出席してください。

手続書類を提出する

提出期限までに手続書類を提出してください。

■ 教育ローン

本学では、奨学金とは別に学費納付を目的とした融資を希望する方のため、金融機関と「教育ローン」の提携を行っています。

なお、下記の金融機関（**C**～**G**）より教育ローンを借用した場合、金利等の優遇措置が受けられます。

A および **B** については金利優遇措置の提携はしていませんが、より低金利での借用が可能です。相談や申請は各金融機関で行ってください。

A 日本政策金融公庫 **B** 中央労働金庫 **C** 三井住友銀行 **D** みずほ銀行 **E** オリエントコーポレーション
F ジャックス **G** セディナ

■ 奨学金の手引

各奨学金の詳細は、学生課が開催する奨学金説明会で配布する「**奨学金の手引**」をご覧ください。

■ 奨学金の種類（採用数・金額等は平成28年度実績）【窓口】学生センター学生課

制度名		金額（円）	採用数	申請時期	貸・給別	備考	
学習院大学新入学生特別給付奨学金		入学金相当額	45	5月中旬～下旬	給付 7月末日	学部新入学生のみ 学業成績・人物優秀で 家計困難度の高い者	
学習院大学学費支援給付奨学金		在籍学部学科の第2期分授業料相当額	72	5月中旬～下旬	給付 9月末日	毎年申請可 学業成績・人物優秀で 家計困難度の高い者	
学習院大学奨学金		申請年度の学費納付金相当額とし、次の①～③のいずれかを選択 ① 第一期分のみ ② 第二期分のみ ③ 納付金全額	0	5月中旬～下旬	貸与 (無利子)	日本学生支援機構奨学金不採用者のみ 2年生以上が対象 毎年申請可（最長修業年限内） 貸与上限は大学在学中通算2学期分まで	
学習院大学教育ローン金利助成奨学金		「在籍料+授業料+施設設備費」に相当する借入累計金額の金利分	17 (27年度実績)	1月中	給付 3月下旬	毎年申請可 最長修業年限内 1年間の給付上限は5万円	
学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金		年間授業料の3分の1相当額	72	5月中旬～下旬	給付 10月末日	学業成績が優秀かつ研究心に富む者または一定の収入基準以下である者	
日本学生支援機構奨学金	学部	1年生	第一種（無利子） 月額（共通）30,000 （自宅）54,000 （自宅外）64,000	第一種 79 第二種 101	4月中旬～下旬	貸与	※1 左記以外に高校時予約採用数として 第一種 132 第二種 213 左記採用数に予約採用数を含む
		2年生以上	第二種（有利子）5種類より選択	第一種 24 第二種 61			
	大学院	博士前期	第一種 月額 50,000 88,000 第二種（有利子）5種類より選択	第一種 29 第二種 3			
		博士後期	第一種 月額 80,000 122,000 第二種（有利子）5種類より選択	第一種 4 第二種 0			
	法科大学院	第一種 月額 50,000 88,000 第二種（有利子）7種類より選択	第一種 6 第二種 3				
財団法人・民間企業地方公共団体奨学金			若干名あり	4月～5月	給付 又は貸与		
学習院大学学業優秀者給付奨学金※2		大学院生 年額 300,000 学部生 年額 100,000	32 144		給付	採用1ヶ年 各専攻・各学科からの推薦制	
安倍能成記念教育基金奨学金※2		I 大学院奨学金 II 大学学部奨学金 I～II 年額 450,000	19		給付	採用1ヶ年 採用数はI～II共に毎年若干名 各専攻・各学科からの推薦制	
学習院末松奨学金※2		年額 100,000	1		給付	採用1ヶ年 人文科学研究科史学専攻からの推薦制	
関育英資金奨学金※2		月額 30,000	1		給付	採用1ヶ年 人文科学研究科史学専攻からの推薦制	

※1 4月～6月採用者の人数です。
※2 推薦制のため、応募はできません。

● 緊急貸与、応急貸与は含みません。

以下は、留学生のための奨学金制度です。

【窓口】国際交流センター

名称	金額（円）	採用数	申請時期	貸・給別	備考
学習院大学外国人留学生奨学金及び奨励金	奨学金 239,000 ～ 119,500 奨励金 300,000	132 13	4月初旬	給付 10月	採用1ヶ年
学習院大学外国人留学生授業料減免	授業料30%減免（*）	142	4月初旬	減免	* 大学院博士課程3年次で取得単位満了の者で、博士論文執筆または審査のために在籍する者は100%減免
文部科学省外国人留学生学習奨励費給付制度※	月額 48,000 (大学院生・学部生)	(学部) 17 (大学院) 1	4月～5月	給付	学外団体の奨学金のため、詳細についてはお問い合わせください。
私費留学生用奨学金	各奨学金により異なる	若干名あり	通年		

※ 推薦制のため、応募はできません。

留学希望者のための奨学金制度は、15ページをご覧ください。

図書館

学習院大学には、キャンパス内の約 20 箇所に図書施設があります。そのうちここでは大学図書館、法経図書センター、理学部図書室についてご紹介します。

学習院大学で利用できるその他図書施設の利用詳細は次ページをご参照ください。

	大学図書館	法経図書センター	理学部図書室
			
		■ 入口：東 2 号館 5F	■ 南 4 号館 1F：物理・化学・生命科学 ■ 南 4 号館 3F：数学
所蔵資料の特徴	各分野の入門図書、学習図書および専門図書を網羅的に揃えています。	法学部・経済学部・国際社会科学部・法務研究科の専門図書を中心に資料を揃えています。	理学部の専門図書を中心に資料を揃えています。
利用対象者	全学部		
開館日・開館時間	次ページ参照		
資料の利用	次ページ参照		
オンラインサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● GLIM/OPAC：学習院大学・学習院女子大学に所蔵されている資料が検索できます。 ● My GLIM：個人専用ページで、資料の貸出予約や貸出期間延長等が行えます。（GLIM/OPAC からログインして利用） ※他にも様々な検索サービスがあります。 上記を含め、全て図書館ホームページからアクセスできます。		
レファレンス（資料の探し方等の相談）	受付：2F カウンター 平日 16：30、土曜 12：20 以降の受付は翌開館日の対応になります。	受付：5F カウンター 平日 16：30、土曜 12：20 以降の受付は翌開館日の対応になります。	理学部図書室では受け付けていません。他館をご利用ください。
パソコン	<ul style="list-style-type: none"> ● 3F コンピュータ利用閲覧室 40 台 ● 2F データベース検索コーナー 8 台 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5F セミナールーム 25 台 ● 情報検索コーナー 28 台 ● 新刊雑誌室 5 台 ● 3F、4F 書庫 19 台 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1F（物化生）2 台 ● 3F（数）2 台
無線 LAN 利用可能エリア	1F、2F の開架エリア	5～7F の開架エリア	図書室内全エリア
グループ学習室	[申込不要] <ul style="list-style-type: none"> ● 3F グループラーニング室①、② ※ ただし貸切りにしたい場合は要申込 [要申込] <ul style="list-style-type: none"> ● 3F 特別閲覧室 / AV 閲覧室 	[申込不要] <ul style="list-style-type: none"> ● 5F セミナールーム ※ ただし貸切りにしたい場合は要申込 [要申込] <ul style="list-style-type: none"> ● 7F グループ学習室①、② 	[申込不要] <ul style="list-style-type: none"> ● 1F 閲覧席の一部エリア

(平成 28 年 11 月時点)

学内図書施設 利用案内一覧

学部	名称	場所	開室時間	休憩時間	館内閲覧
					図書・雑誌 冊数
	大学図書館 TEL：03-5992-5222（直）	——	8:50～21:00(土 18:00) 本館書庫資料請求は閉館 30 分前まで	なし	無制限
法経国 法院	法経図書センター TEL：03-5992-5222（直）	東 2-5 F	8:50～20:00	なし	無制限★
文	哲学科研究室	北 2-4F	8:50～17:30(土 12:30)	11:10～12:10 (土なし)	無制限
	史学科研究室	北 2-2F	9:00～17:30(土 13:00)	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	日本語日本文学研究室	北 2-8F	9:00～18:00(土 12:30) 閲覧・貸出手続は平日 17:00 まで	11:20～12:20 (土なし)	3冊★
	英語英米文化学科研究室	北 2-9F	9:00～17:00(土 13:00)	11:30～12:30 (土なし)	5冊
	ドイツ語圏文化学科研究室	北 2-3F	9:00～16:30(土 12:30)	11:20～12:20 (土なし)	無制限
	フランス語圏文化学科研究室	北 2-5F	9:00～17:00(土 12:30)	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	心理学科研究	北 2-7F	9:30～17:30(土 13:00)	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	教育学科研究室	北 1-2F	月水金 8:45～16:45 火木 8:45～18:30 土 9:00～12:30	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	アーカイブズ学専攻研究室	北 2-6F	10:00～18:30(土 16:30)	11:30～12:30 (土 12:00 まで)	無制限
	身体表象文化学専攻研究室	北 2-6F	10:00～18:00 (土 9:00～12:30)	11:30～12:30 (土なし)	無制限★
理	理学部図書室 (物理・化学・生命)	南 4-1F	8:50～18:30(土 13:00)	なし	無制限
	理学部図書室 (数学)	南 4-3F			
その他研究所等	教職課程	中央 -6F	8:40～16:45(土 12:30)	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	学芸員課程	北別館	9:30～17:30(土 12:30) 図書・史料の請求は 16:30 まで閲覧は 17:00 まで	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	史料館	北別館	9:30～17:30(土 12:30) 図書・史料の請求は 16:30 まで閲覧は 17:00 まで	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	東洋文化研究所	北 1-4F	9:30～16:30(土 11:30)	11:30～12:30 (土なし)	無制限
	学生相談室	中央 -2F	9:30～17:00(土 12:30)	なし	無制限
	外国語教育研究センター	中央 -6F	8:45～16:45(土 12:30)	11:30～12:30 (土なし)	無制限★
	スポーツ・健康科学センター	北 1-1F	9:00～17:00(土 12:30)	11:30～12:30 (土なし)	無制限★
	学習院女子大学図書館 TEL:03-3203-1977（直）	新宿区戸山 3-20-1	8:50～20:00(土 18:00)	なし	無制限

【注意】ご利用の際、必ず「学生証」をカウンター係員に提示してください(全室共通)。北 2 号館地下書庫の資料利用については、上記と異なる場合があります。詳しくは各研究室にご確認ください。試験期・休講期の開室時間は上記と異なる場合があります。図書館ホームページでご確認ください。

館外貸出					備考
利用者区分	図書		雑誌		
	冊数	期間	冊数	期間	
共通	10冊	2週間 書庫資料に限り、 院生は1ヶ月	10冊	1週間	・入館時学生証必携 ・雑誌の最新号は貸出不可
学部生 下記以外院生	図書10冊 映像2点	2週間	2冊 書庫資料のみ	1週間☆	・入館時学生証必携 ★書庫資料の請求は一度に6冊まで ☆開架雑誌は貸出不可
法学研究科 経済学研究科 法科大学院 院生	図書35冊 映像2点	開架 2週間 書庫 2ヶ月 映像 2ヶ月	20冊 書庫史料のみ		
学部生	3冊	2週間	×		
院生	5冊				
共通	3冊★	2週間	×		★他学科・他専攻の学生の室外貸出は、学生証の提示 及び史学科発行の「他学科借覧願」への記入が必要
共通	3冊	1週間	×		・一部図書は貸出不可 ★日本語日本文学専攻の院生は、冊数無制限
文学部生 下記以外の院生	5冊	2週間	×		
人文科学研究科院生	10冊	4週間	×		
上記以外学部生	3冊	2週間	×		
所属学科生・専攻生	10冊	1ヶ月★	×		・洋書および和書の一部は貸出不可 ★和書の貸出期間は2週間
その他	5冊	1ヶ月★	×		
学部生	3冊	1ヶ月★	×		・地下書庫・共同研究室資料は一部貸出不可 ★所属学科生、専攻生の論文執筆者は3ヶ月
院生	5冊				
文学部生 人文科学研究科院生	5冊	2週間	×		
上記以外	3冊				
学部生	3冊	2週間	×		
院生	5冊				
所属専攻生	5冊	3週間	図書に含む	1週間	・雑誌の最新号は貸出不可
上記以外	3冊	2週間	×		
所属専攻生	5冊☆	1ヶ月	×		★入庫時、学生証をカウンターに預ける ☆所属専攻生の論文執筆者は10冊 *学部生は「所蔵資料特別貸出願」提出者(2年生以上)のみ貸出可
上記以外院生		和書2週間 洋書1ヶ月	×		
学部生		3冊*	×		
理学部生	4冊	2週間	2冊	2週間	・雑誌の最新号は貸出不可
自然科学研究科院生	6冊	3週間	3冊	3週間	・貸出冊数は、理学部図書室(物理・化学・生命)と 理学部図書室(数学)の合計冊数
上記以外	4冊	2週間	×		
共通	3冊	2週間	図書に含む	1週間	・雑誌の最新号は貸出不可
共通	×				・土曜日は閲覧不可
共通	×				・史料の閲覧は事前連絡が必要 ・土曜日は閲覧不可
共通	3冊	2週間	×		・開架図書および友邦文庫・貴重書は貸出不可 ・友邦文庫の閲覧は事前連絡が望ましい
共通	3冊	2週間	図書に含む		・雑誌の最新号は貸出不可
共通	×				★閲覧方法は外国語教育研究センターに問い合わせること
共通	×				★事前に「資料請求票」提出(当日は閲覧不可)
共通	8冊	2週間	3冊	2週間	・入館時学生証必携 ・雑誌の最新号は貸出不可 ・定期便による図書の取寄せ可

(平成28年11月時点)

スポーツ・健康科学センター

スポーツ・健康科学センターは、スポーツ科学、健康科学に関する教育・研究を総合的に行う大学附属研究施設です。スポーツ・健康科学に関する授業を開講するほかに、様々なサービスを提供しています。

■ 開講科目

体育科目 スポーツ・健康科学Ⅰ スポーツ・健康科学Ⅲ a
 スポーツ・健康科学Ⅱ スポーツ・健康科学Ⅲ b
総合基礎科目 スポーツと健康を考える

■ 活動の概要

1. スポーツ施設・用具の貸し出し

〔施設〕 北グランド／テニスコート／多目的コート／体育館／卓球場
〔用具〕 野球／ソフトボール／テニス／バドミントン／バレーボール／サッカー／バスケットボール／卓球

2. 運動部活動への指導・協力

四大学運動競技大会／甲南大学定期戦／学内スポーツ大会

3. トレーニングルーム講習会

4. その他

スポーツ・健康科学関連図書の閲覧／公開講座／講演会



計算機センター

計算機センターは、情報処理に関する研究を行う大学附属研究施設であるとともに、情報処理に関する総合基礎科目を開講しています。

■ 開講科目

計算機センターの開講科目は、次の通りです。
これらの科目の内容等に関する質問は計算機センター事務室までどうぞ。なお、これらの科目の各学科での単位認定に関する質問は各学科窓口でご相談ください。

総合基礎科目										
情報										
初等情報処理1	初等情報処理2	情報数理解析入門1	情報数理解析入門2	情報処理入門1	情報処理入門2	情報処理1	情報処理2	情報処理3	情報処理4	マルチメディア論1
										マルチメディア論2

■ ユーザー登録

計算機センターのコンピューターを利用するためには、まずユーザー登録をしなければなりません。そのためには、総合基礎科目（情報）の「初等情報処理1」を履修し、ネットワーク犯罪の被害者あるいは加害者にならないために、コンピューターリテラシーとネットワークリテラシーについてしっかり学ぶ必要があります。そして、学期終了後、担当教員に情報倫理およびコンピューターの基本操作について、最低限の技術と知識を習得したものと認められた（単位を修得できた）学生は、卒業まで継続して利用することができます。

■ 授業用パソコン・実習用パソコン

計算機センターでは、授業時に利用するパソコン、および、実習用にオープン利用できるパソコンを用意しています（63 ページ参照）。これらのパソコンを利用するには、各自がユーザー登録されている必要があります（次のユーザー登録参照）。

実習室Ⅰには開室時間中、インストラクターが常駐していますので、パソコンのトラブルや使用方法についての質問をしたり、計算機センターで作成した手引書をもらうことができます。

もちろん、これ以外の授業でコンピューターを使用する場合は、ユーザー仮登録をしますので、その履修期間中のコンピューター使用は可能です。ただし、卒業までの継続利用はできないので注意してください。

また、計算機センター利用認定試験に合格した学生にも、卒業までの継続利用を認めます。ただし、この試験は、すでにコンピューターの基本操作について習得済みの学生を対象にしていますので、初心者は必ず「初等情報処理1」の授業を履修してください。

外国語教育研究センター

外国語教育研究センターは、言語の分野における調査、研究を行う大学附置研究施設であるとともに、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、イタリア語、朝鮮語、アラビア語、そして留学生向け日本語、計 10 言語の外国語科目の授業を開講しています。

国際化が進むなかで、外国語の重要性はますます高まっています。外国語教育研究センターは、質の高い授業を提供する努力を惜しまぬだけでなく、外国語に興味を持ち、自発的に学ぼうという意欲ある学生の皆さんを応援しています。

■ 英語

英語が世界で通用する言語であることは言うまでもなく、本学では、自分のレベルを知る目安として現在、入学時と 2 年終了時に TOEIC® の全学共通試験を実施しています。NetAcademy2 というオンライン英語学習システムを導入しており、学内および学外のパソコンからアクセスできますので、ぜひ活用してください。

■ 外国語自習室（中央教育研究棟 6F）

開室時間：月曜日～金曜日 10:00～16:30

※ パソコン、CD、DVD、自習用教材、多読用英語書籍等を用意しています。

■ 英語以外の外国語

いわゆる「第 2 外国語」はゼロからのスタートですが、それゆえの学習の喜びがあります。街で見かけた言葉の意味がわかったり、その言語の話されている国々のニュースに敏感になったりと、思っていた以上に自分の世界が広がることでしょう。英語以外の言葉を学ぶことによって、英語への一極集中的な状況に対する客観的な視点が持て、また英語、ひいては母語である日本語の理解も深まります。

卒業に必要な単位の取得も欠かせませんが、単位取得後も新たな外国語に挑戦したり、同じ言語の学習を深めている学生の姿も教室でよく見られます。

東洋文化研究所

東洋文化研究所は 1952 年、安倍能成学習院長（当時）の「新たな理念と、広い視野とをもつて、改めて東洋に学ぶことは、日本人自身の為にも世界人類の為にも重要な仕事である」との主旨のもとで発足し、学習院大学におけるアジア研究の拠点として 60 年の歴史を有しています。近年では、朝鮮・中国を中心とした東アジア地域に関する研究活動を通じて、多くの学生が集まり、勉強できる場を提供しています。

■ プロジェクト研究

学内の先生方を研究員とし、また学外の専門家にも客員研究員としてご参加いただき、毎年 10 件前後のプロジェクト研究を行っています。東アジアの歴史・思想・政治・法律・教育・言語などを対象とする一般研究プロジェクトのほか、学習院が所蔵している漢籍や朝鮮関連資料を調査するアーカイブプロジェクト、若手研究者の研究支援のための共創研究プロジェクトも活動中です。

■ 刊行物

年報『東洋文化研究』では、プロジェクトの研究成果のほか、学内外から広く論説の投稿を受け付けており、高水準・最新の東アジア学研究成果が掲載されています。また、単冊の研究報告として、『調査研究報告』も計 61 冊刊行されています。研究成果

■ 公開講座

一般向けのシリーズ講演「東洋文化講座」を毎年開催し、既に 90 回を越えました。また、それぞれの研究プロジェクトでも、海外からの招聘者や学内外の専門家による公開講座やワークショップなどが開かれています。基本的に参加無料、事前申込不要です。

2017 年度実施予定プロジェクト

● 一般研究プロジェクト

「中国の南向政策：経済の陸、安保の海」
「日本と韓国における人的資源管理の国際比較—収斂・拡散理論の観点から—」
「アジアの高等教育における CLIL（内容・言語統一型学習）の応用と実践」など

● アーカイブプロジェクト

● 「東アジア学」共創研究プロジェクト

を広く社会に還元するため、「学習院大学東洋文化研究叢書」のシリーズを刊行しており、2016 年度には、『言語復興の未来と価値—理論的考察と事例研究』を刊行しました。このほか、朝鮮史の基本資料である『李朝実録』『三國史記』などの復刻も行っています。

■ 所蔵資料

東アジア関係の書籍・資料を中心に、約 4 万冊を収蔵しています。研究書・参考書だけでなく、広開土王碑拓本、朝鮮総督府関連資料である友邦文庫など、一次資料も収蔵しています。東アジア研究に必要な辞書・辞典類や、四庫全書 CD-ROM など、レファレンスも充実しており、学生の皆さんは、どなたでもこれらの資料を利用できます。

史料館

大学内の研究施設として、また、社会にひらかれた博物館として、史料を公開し次世代に引き継ぐという社会的使命を果たすために、様々な活動を行っています。

■ 事業と活動

- **史料の収集・保存**…公家・大名・幕臣・村の名主家や皇族・華族など中近世から近代にいたる史料、および学習院関係者史料など、14万点以上
- **出版物の刊行**…『学習院大学史料館収蔵史料目録』、『学習院大学史料館紀要』、『ミュージアム・レター』など
- **展覧会の開催**…年2～3回調査研究の成果を反映した展覧会を実施
- **公開講座の開催**…年3回、一般・学生対象
- **調査・研究**…歴史学・美術史学・学習院教育史・文学などに関する専門的研究
- **図書・史料の閲覧**…図書はOPAC、史料は備え付けの「史料目録」で検索できます。図書の館外貸し出しはしておりません。
- **学芸員課程**…館内に学芸員課程事務室と博物館実習室を設置し、学芸員資格に関する業務の窓口を担当しています。

学習院大学は博物館と連携しています

校内の博物館相当施設である学習院大学史料館の展示はどなたでも無料で見学できます。

また、学習院大学では、科学技術や美術・歴史などに対する皆さんの関心を高めることを目的として、下記の博物館と連携しています。各館の窓口で学生証を提示すると、常設展が無料で観覧できたり、一部特別展企画展が割引になるなど、お得な使い方がいっぱい！

詳細は、学芸員課程HP <http://www.gakushuin.ac.jp/univ/curator/index.html> をご覧いただくか、学芸員課程事務室（北別館内）へお問い合わせを。

【連携先】

国立科学博物館、東京国立博物館、国立美術館（東京国立近代美術館・国立西洋美術館・国立新美術館）、東京都歴史文化財団（江戸東京博物館・江戸東京たてもの園・東京都現代美術館・東京都写真美術館 他）

国際研究教育機構

「国際連携」「国際研究」「国際教育」の三つの柱を軸に研究者ネットワークを教育に活かす組織として2014年4月に開設された最も新しい大学附置研究施設です。2017年度には約400名の学生の皆さんが参加できる16の国際教育プログラム・コース（短期）を準備しています。地球が皆さんのキャンパスです！

- **セインズベリー・プロジェクト（イギリス）**
イギリス・セインズベリー日本芸術研究所との提携による研究教育交流。ケンブリッジ大学・大英博物館などを訪問。
- **グローバル・キャンパス・ヨーロッパ派遣研修 [2 コース]（ドイツ・フランス）**
フライブルク（独・フライブルク大学）・ブザンソン（仏・フランシュ・コンテ大学）での語学・文化研修。
- **アルザスプロジェクト（フランス）**
フランス・アルザス欧州日本学研究所との提携による基礎教養科目「海外フィールド研修（欧州日本研究）」対象プログラム。
- **グローバル・キャンパス・アジア派遣研修 [8 コース]（中国・韓国・台湾・インドネシア）**
上海（復旦大学）・北京（北京郵電大学）・西安（陝西師範大学）・香港（香港中文大学）・台北（東呉大学）・黄土高原（中国）・大邱（韓国・慶北大学校）・ジャカルタ（インドネシア国立大学）にて語学研修・課題探求型現地研修及びボランティアを実施。基礎教養科目「海外フィールド研修（東アジア研究）」「海外フィールド研修（国際環境協力研究）」対象プログラム。
- **グローバル・キャンパス・アジア東京（日本）**
海外学生を学習院大学に3週間受け入れ、日本語研修・課題探求型現地研修を実施（年3回/6・7・2月）。
- **学習院グリーン元気プロジェクト（インドネシア）**
インドネシア・スラウェシ島での学生交流・植林活動
- **わくわくとしま日本語教室（日本）**
豊島区の外国人生活者のための日本語講座
- **学習院大学日本語教室（日本）**
外国人と交流しながら共に日本語を学びあう

学習院さくらアカデミー

学習院さくらアカデミーは、年齢・性別・学歴に関係なく、誰もが必要に応じ、生涯にわたり教養を深め、専門知識や技術を修得する場の提供を目指しています。また、これから社会に出る学生の皆さんを支援するため、語学、実用・実務、資格取得講座を開設しています。

◆ キャリアアップ・スキルアッププログラム (語学、実用・実務、資格取得)

学習院さくらアカデミーでは、民間の語学学校や資格専門学校と提携し、学生支援のためのキャリアアップ・スキルアッププログラム (TOEIC® 対策講座、TOEFL® iBT 対策講座、秘書検定講座、日商簿記講座 他多数) を開設しています。**就職活動や将来を見据え、自分自身の付加価値を高めたい**と考えている皆さんにとり、最適な学習環境を準備しています。

在学生向けの講座募集要項は、西5号館学生ホール、西2号館1Fおよび輔仁会館1F学生食堂付近の学習院さくらアカデミー講座情報スタンドに設置しています。

◆ 本学在学生割引制度 etc

資格・検定対策講座では、「一般」、「他大学在学生」、「本学在学生」の3段階の受講料を設け、「本学在学生」の経済的負担を大幅に軽減しています。また、資格試験に合格できなかった方への支援の一環として、「再チャレンジ制度」も設けております。詳しくは学習院さくらアカデミーまでお問合せください。

◆ 学習院さくらアカデミー 問合せ・連絡先

Tel 03-5992-1040 Fax 03-5992-1124

ホームページ <http://g-sakura-academy.jp/>

※ 開室時間：平日 10:00～17:00 (夜間講座時～19:00)

土曜・日曜 10:00～17:00

学部・大学院に所属する附置研究施設

■ 経済経営研究所 (GEM)

経済経営研究所 (以下 GEM) は、社会に開かれた研究、情報発信、教育の諸機能を持つ研究所として 1985 年に設立された経済学部の附置機関です。研究機能の面では、国内外の研究者や研究機関、さらには産業界・官界との共同研究および研究交流の拠点として、研究プロジェクトやセミナー、会議の開催を積極的に行い、その研究成果を『経済経営研究所年報』などに公表しています。さらに GEM は、経済経営情報部門と研修部門の下部機関を設置しています。経済経営情報部門では、企業等の学外機関と協力して我

が国の経済と企業経営にとって重要なデータベースを2つの分野 (ワーク・ライフ・バランス、生活者データベース) で構築し、社会に発信する事業を行っています。また研修部門では、経済学部の卒業生に再教育の機会を提供し、経済学部と卒業生のネットワークを強化する狙いから、「ビジネス・フォーラム」と呼ぶビジネス研修コースを実施しています。

経済経営研究所ホームページ

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/eco/gem/>

■ 人文科学研究所

学習院大学人文科学研究所は、1976年より文学部の附置機関として活動してきた言語共同研究所がその役割を終えて閉所されたのを受けて、2001年に設立されました。開所以来、人文科学全般にわたる共同研究プロジェクトが多数生まれ、活発な活動を展開しています。所員である文学部専任教員がスタッフの中心ですが、人文科学研究科の博士後期課程修了者をはじめ若手の研究者、ま

た海外を含めた学外のすぐれた研究者を客員所員に迎えています。研究会・シンポジウム、講演会、博士論文の発表会なども活発に行われています。また研究成果は、学術雑誌『人文』、『人文科学研究所報』のほか、人文叢書の単行本としても出版されています。人文科学研究所ホームページ

<http://www.gakushuin.ac.jp/univ/let/rihum/>

■ 心理相談室

学習院大学心理相談室は 2008 年 4 月に大学院人文科学研究科心理学専攻臨床心理学コース (現在臨床心理学専攻) の大学院生の実習機関として開室されました。地域に開かれた相談機関として、さまざまな心理的問題を抱える成人、児童や青年とその保護者の相談活動を行なっています。臨床心理士資格を持った教員および

臨床心理士経験の長いカウンセラーの責任のもとで、大学院生が相談を担当しています。人間の心が本来持っている成長のエネルギーを回復することを基本理念としながら、心理療法や遊戯療法、箱庭療法、心理検査、保護者カウンセリング等の心理臨床実践を行なっています。

■ 生命分子科学研究所

生命分子科学研究所 (通称生命研) は、物理学や化学の基礎の上に生命現象を追求することを目標として、1991年4月に発足しました。これまで、タンパク質や核酸など生命分子の構造・機能・生成機構に関する研究、特にタンパク質の生合成機構、タンパク質分解酵素の構造と機能、伝達物質受容体など神経機能素子の作用機構、などの研究を行ってきました。2008年4月に大学院自然科学研究科に生命科学専攻が、次いで2009年4月には理学部に生

命科学科が創設されました。これに伴い生命研がカバーする研究領域は大きく拡大し、現在 ATP 合成酵素などを対象とした1分子生物物理学、動物再生の分子機構、アルツハイマー症の原因解明、遺伝子損傷ストレスの耐性機構、神経系初期発生の分子機構、ショウジョウバエを使った発生遺伝学、膜タンパク質の構造生物学、植物の成長・分化の生理学などの研究も行われています。

校外施設

本学所有の校外施設は、4ヶ所あります。いずれも低料金で利用できますので、ゼミや部会の合宿・個人旅行等に大いに利用してください。

詳細については、施設部までお問い合わせください。

■ 校外施設の概要

料金一覧表 (各施設共通)

利用者区分		各施設共通 (除: 蛇子沢小屋)	
		宿泊 (1泊)	日帰り
A	本院学生 (院生、研究生、科目等履修生含む)、停年退職者	1,000円	500円
	本院生徒 (高等科・女子高等科)、教職員 (非常勤含む)		
	本院生徒 (中等科・女子中等科)、本院児童、本院園児	500円	250円
B	本院の専任教職員家族	2,000円	1,000円
C	本院の在学学生父母、卒業生、賛助員	3,000円	1,500円
D	本院が認めた者 (例: 卒業生・非常勤講師・旧職員・名誉教授の各々家族) 本院在学学生の配偶者及び子	4,000円	2,000円
E	3歳以上12歳以下の者及び3歳未満で寝具等を必要とする者 (3歳未満で寝具不要者は無料)	上記B・D料金の それぞれ半額	無料

※ 鎌倉寸心荘につきましては、日帰り料金が異なりますので、施設部までお問い合わせください。

利用時間

宿泊 チェックイン 15:00 ~、チェックアウト 10:00

※ 沼津游泳場、妙高高原寮、鎌倉寸心荘は 19 時まで、日光光徳小屋は 17 時までにご到着ください。
深夜・早朝の発着はできません。施設で夕食をとる場合は 17 時までにご到着願います。

日帰り 10:00 ~ 15:00

食事代

(各施設にて退去時に徴収)

	沼津游泳場	妙高高原寮	日光・光徳小屋	西田幾多郎博士 記念館 (寸心荘)
朝食代	822円	670円	自炊	—
昼食代	1,029円	—		
夕食代	1,234円	980円		

※ 沼津游泳場については、調理を外部に委託していることから、食事利用人数 (他の利用者を含む) が 10 名未満の場合は、食事の利用をお断りする場合があります。

校外施設利用料金の特例

- 大学学生指導のため、ホームルームまたはゼミナール等を単位として、指導教員の指導の下に利用する学生の場合は、1泊2日分に限り利用料を免除します。
- 輔仁会等の合宿練習で使用することを許可された場合には、利用料を半額とします。但し、学生センター学生課に合宿許可願を提出した公認団体に限ります。

申し込み・問合せ先

施設部までお問い合わせください。

(校外施設ページ URL 「<http://www.gakushuin.ac.jp/ad/kanri/kougai.html>」)

その他の施設 *お問い合わせは直接、八王子セミナーハウスへ

八王子セミナーハウス

公益社団法人大学セミナーハウスが運営する教育研修施設です。多摩丘陵の広大な森林地帯に位置しています。都会の喧騒から離れた豊かな自然環境の中で、ゼミ合宿や課外活動を行うことができます。

- 所在地 ○ 東京都八王子市下柚木 1987-1 ○ TEL: 042 (676) 8511
- 施設の概要 ○ 宿泊室: 90 室 ○ 10 名 ~ 150 名まで利用できるセミナー室有
- 利用料金 ○ 利用料はホームページを確認して下さい。 <http://www.seminarhouse.or.jp/>
○ セミナー室 1 室無料 ※ 但し、23 時以降は有料

沼津游泳場



沼津市島郷の海岸、御用邸記念公園に隣接する23,000㎡の林間に、14棟3,000㎡の学習院沼津游泳場があります。

夏季には全学園の臨海教育施設として最大限に利用されるほか、年間を通してゼミナール、ホームルーム、または運動・文化各部の合宿等にも利用されています。

所在地 ●静岡県沼津市下香貫島郷 2802
●TEL:055(931)1400

施設の概要 ●建物:木造瓦葺平家建て
●客室:35室
●宿泊定員:120名
●浴室:男女大浴場各1室
●貸出設備:夏季利用者「蚊帳」、冬季用「炬燵」

近隣の観光地 ●沼津御用邸記念公園／沼津千本浜公園／あわしまマリンパーク／伊豆・三津シーパラダイス

利用料金 ●料金一覧表参照(42ページ)

妙高高原寮



上信越高原国立公園のなかでもすぐれた景勝地のひとつである妙高高原池の平に、温泉施設を備えた鉄筋コンクリート造地下1階・地上2階建ての妙高高原寮があります。

スキー、ハイキングなどのレクリエーションや、運動部、文化部、ホームルームの合宿などの課外活動に利用されています。

所在地 ●新潟県妙高市大字関川 2416-10
●TEL:0255(86)2327

施設の概要 ●建物:鉄筋コンクリート造
地下1階・地上2階建て
●客室:8室
●宿泊定員:30名
●浴室:温泉男女各1室

近隣の観光地 ●妙高山／笹ヶ峰牧場／黒姫高原／野尻湖／小林一茶の里／信州善光寺

利用料金 ●料金一覧表参照(42ページ)

日光・光徳小屋



日光国立公園戦場ヶ原の近くに“山の家”日光光徳小屋があります。原始林に囲まれた幽境約9,000㎡の用地にあって、自炊設備の備わった2階建ての純山小屋風の建物です。勉強の余暇、四季を通じての登山、ハイキング、奥日光の自然探勝などに大いに利用されています。ただし例年11月～4月は積雪のため貸出しはありません。

所在地 ●栃木県日光市中宮祠官有無番地
●TEL:0288(55)0706

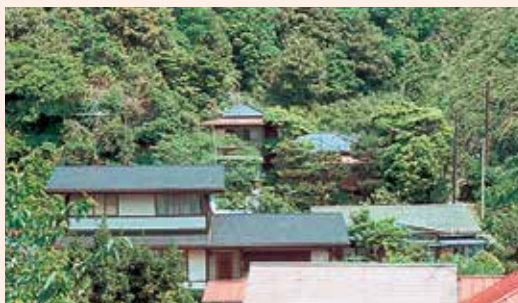
施設の概要 ●建物:鉄骨2階建て ●客室:4室
●宿泊定員:19名
●浴室:シャワーのみ

近隣の観光地 ●光徳牧場／山王帽子山／中禅寺湖マス釣／湯の湖マス釣

利用料金 ●料金一覧表参照(42ページ)

※食事は自炊ですので材料を持参してください。食器・寝具類は備え付けられています。

西田幾多郎博士記念館(寸心荘)



鎌倉市稲村ヶ崎の丘陵に木造2階建ての西田幾多郎博士記念館があります。

この記念館は学習院寸心荘として本院教職員、学生・生徒が研究、研修会、ゼミナール等の教育課程の一部、もしくは、それに準じた目的で利用するために昭和52年4月に開館しました。

所在地 ●神奈川県鎌倉市稲村ヶ崎 3-11-1
●TEL:0467(24)9536

施設の概要 ●建物:木造2階建て ●客室:3室
●宿泊定員:10名
●浴室:1室(男女時間別入浴)

近隣の観光地 ●由比ヶ浜海岸／鎌倉各寺／鶴岡八幡宮／江の島

利用料金 ●料金一覧表参照(42ページ)

※利用目的は研究・研修会・ゼミナール等に限ります。

課外活動に参加しよう

充実した学生生活を送るために「授業」と「課外活動」は重要です。積極的に課外活動に参加し、授業では学び得ないものを吸収すると共に、豊かな人間関係を築いてください。

■ 公認団体・任意団体

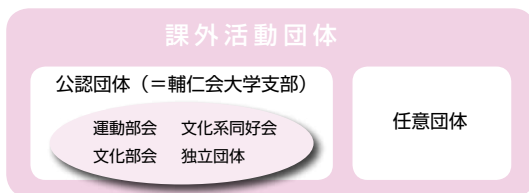
学習院大学の課外活動団体は、「公認団体」と「任意団体」の2つに分けられます。

「公認団体」とは輔仁会大学支部に所属している団体、「任意団体」とはそれ以外の団体です。

46～47ページには、「公認団体」（＝輔仁会大学支部）に所属している団体を記載しています。

平成26年度より、任意団体の登録制が始まりました。登録した団体は、下表のとおり新入生歓迎行事及び大学祭での参加資格が得られます。

登録を希望する団体は、学生課までお問合せください。



課外活動団体		新入生歓迎行事参加資格	大学祭参加資格
公認団体		○	出店、展示または発表 学外から講演者を招く企画は条件有
登録した任意団体	構成する学生が本学・女子 大学生のみ	○	出店、展示または発表 学外から講演者を招く企画は不可
	構成する学生に他大学生を 含む	△ 学内で勧誘活動ができるのは、 本学学生のみ	展示または発表 出店で活動できるのは、本学学生のみ
未登録の任意団体		×	×

■ 課外活動年間スケジュール

4月上旬	新入生歓迎期間	12月上旬	学内ボート大会
4月中旬	対甲南大学運動競技総合定期戦開会式	12月中旬	学内駅伝大会 対甲南大学運動競技総合定期戦閉会式 四大学運動競技大会・ 対甲南大学運動競技総合定期戦解団式
5月中旬	目白音楽祭		
6月中旬	運動部フレッシュマンキャンプ	1月上旬	課外活動優秀者・優秀団体表彰式 四大学運動競技大会・ 対甲南大学運動競技総合定期戦結団式
8月上旬	四大学運動競技大会学内予選会		
10月上旬	四大学運動競技大会一般種目出場選手壮行会	2月中旬	課外活動代表者説明会 運動部リーダーズキャンプ
10月中旬	四大学運動競技大会 文化部リーダーズキャンプ		
11月上旬	大学祭 四大学運動競技大会学内表彰式		

課外活動助成金

本学には現在、公認団体を対象として各部会の活性化を図り、今後の更なる飛躍と発展の一助となるべく、特定額を助成する制度がありますので、必要に応じて有効に活用してください。

参考として以下に各種助成金について紹介します。

日常の活動に対する助成金

No.	助成金名	内 容
1	輔仁会大学支部予算	日常の活動費
2	学習院課外活動助成金 ＜特別助成金＞	学校間、卒業生等共同の課外活動に対する助成金 (毎年1月頃)
3	学習院課外活動助成金 ＜指定助成金＞	指定寄付に基づく助成金 (発生時)
4	課外活動助成費 ＜部会助成金＞	日常の活動の補助、部の活性化の支援 (毎年6月頃)
5	課外活動助成費 ＜学外施設使用団体助成金＞	日常的な活動で使用している学外施設使用料の一部助成 (毎年1月頃)
6	父母会課外活動助成金 ＜一般助成金＞	備品、用具等日常活動の助成金 (毎年5月頃)
7	父母会課外活動助成金 ＜特別助成金＞	特別な活動（記念行事・記念公演・海外遠征等）に対する援助 (発生時)
8	父母会助成費 ＜学生活動助成金＞	学生共有使用の備品等の購入に対する助成金 (毎年6月頃)

大会に出場した際に申請できる助成金

No.	助成金名	内 容
1	輔仁会激励金	予選を勝ち抜いて全国大会・国際大会出場（発生時）
2	課外活動助成費 ＜全国大会出場に伴う課外活動助成金＞	予選を勝ち抜いて全国大会出場（1団体に年1回）
3	父母会課外活動助成金 ＜優秀賞・奨励賞＞	<ul style="list-style-type: none"> ・全国大会、関東大会、都大会において優秀あるいはそれに準じた成績を収めた者（個人又は団体） ・海外において日本代表として選出され活躍した場合 ・コンクール・研究発表等で優秀な成績をおさめた場合 ・広く社会においてその活動が高く評価されたこと (毎年12月頃)
4	輔仁会課外活動褒賞金	<ul style="list-style-type: none"> ・国際大会、全国大会、関東大会、都大会において入賞（3位以内）した運動系団体または個人 ・コンクール等で入賞した文化系団体または個人 ・国内外での活動が評価され、学習院の名声及び評価を高めた団体または個人 (発生時)

* 各種助成金の申請窓口は、全て「学生センター 学生課」です（不明な点は学生課で確認してください）。

輔仁会大学支部各部会紹介

輔仁会の発足

輔仁会の活動は、明治22年(1889)より始まりました。これより以前、学生の間には運動部関係団体のほか多くの小グループがあり、学生間の融和が妨げられる弊害も生じたため、第4代三浦院長は、学生全体を包括する組織の設立を勧め、その結果課外活動における全学生の中心機関として学習院輔仁会が創設されました。

会の名称は、論語顔淵篇の「君子以文会友、以友輔仁」(君子は文をもって友を会し、友をもって仁をたすく)より選んだものです。

■ 学内団体への加入

運動部会・文化部会等、学内諸団体への入部退部は学生個人の自由な意志によるものです。大学は、入部を強要することも退部する意志をもつ者を強制的にとどめておくことも禁止していますが、新入生は入部を勧められたとき、その場しのぎで名簿にサインするなどの無責任な行為はつつしんでください。

■ 輔仁会大学支部運動部会

団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置	団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置
101	剣 道 部	教授 神田 龍身	柔剣道場・113	125	準 硬 式 野 球 部	教授 入澤 寿美	106
102	硬 式 野 球 部	教授 高埜 利彦	104	127	ヨ ッ ト 部	教授 紙谷 雅子	426
103	硬 式 庭 球 部	教授 佐藤 陽治	硬庭コート脇	128	ゴ ル フ 部	教授 小野 太佳司	412
104	サ ッ カ ー 部	教授 小野 太佳司	107	129	弓 道 部	教授 伊藤 忠弘	119
105	山 岳 部	教授 荒川 一郎	112	130	航 空 部	教授 渡邊 匡人	114
106	柔 道 部	教授 佐藤 陽治	柔剣道場	131	少 林 寺 拳 法 部	教授 高丸 功	524
107	水 泳 部	教授 長谷部 由起子	414	132	水 上 ス キ ー 部	教授 神戸 伸輔	513
108	漕 艇 部	教授 和光 純	117	133	ダ イ ビ ン グ 部	教授 金田 直之	122
109	卓 球 部	教授 小山 明宏	413	134	自 動 車 部	教授 川崎 徹郎	427
110	馬 術 部	教授 紙谷 雅子	馬場	135	射 撃 部	教授 持田 邦夫	525
111	籠 球 部	教授 羽田 雄一	121	137	フ ェ ン シ ン グ 部	教授 遠藤 久夫	118
112	排 球 部	教授 廣 紀江	120	138	ラ ク ロ ス 部	教授 古城 毅	202・509
113	ラ グ ビ ー 部	教授 数土 直紀	108	139	ス カ ッ シ ュ 部	教授 田中 伸英	521
114	陸 上 競 技 部	教授 高丸 功	110	140	ポ ウ リ ン グ 部	教授 細野 薫	511
115	ホ ッ ケ ー 部	教授 今野 浩一郎	111	141	ウ ェ イ ト ・ ト レ ー ニ ン グ 部	教授 林 圭介	526
116	アメリカーンフットボール部	教授 山本 芳明	109	142	あ る け る 同 好 会	教授 眞野 泰	124
117	ア ー チェリー部	教授 山下 純司	123	143	ト ラ ン ポ リ ン 部	教授 佐藤 陽治	527
118	ス キ ー 部	教授 持田 邦夫	116	144	ハ ン ド ボ ー ル 部	教授 廣 紀江	423
119	空 手 道 部	教授 石井 晋	411	145	竿 友 会 同 好 会	教授 鈴木 恒夫	512
120	ソ フ ト ボ ー ル 部	教授 羽田 雄一	105	146	自 転 車 同 好 会	教授 佐藤 陽治	508
121	アイススケート部	准教授 大野 麻奈子	115	148	ト ラ イ ア ス ロ ン 部	教授 横山 悦郎	517
122	合 気 道 部	教授 狩野 智広	425	149	フ ッ ト サ ル 部	教授 眞嶋 史叙	504
123	ソ フ ト テ ニ ス 部	教授 神戸 伸輔	424	150	ラ ケ ッ ト ボ ー ル 同 好 会	教授 山下 純司	404
124	バ ド ミ ン ト ン 部	教授 高丸 功	514				

(注) 部会室位置の各番号は黎明会館の部屋番号です。上記は平成29年2月における平成29年度の予定です。

■ 輔仁会大学支部文化部会

団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置
501	囲 碁 部	教授 佐藤 陽治	519
502	映 画 研 究 部	教授 野村 正人	409
503	英 語 部	教授 フィリップ・ブラウン	307
504	演 劇 部	准教授 大野 麻奈子	305
505	音 楽 部	教授 加藤 耕義	226
506	カトリック研究部	教授 鈴木 恒夫	420
507	観 光 事 業 研 究 部	教授 小出 篤	204
508	観 世 会 部	教授 数土 直紀	219
509	軽 音 楽 部	教授 元田 結花	223
510	経 済 学 研 究 部	教授 和田 哲夫	407
511	国 劇 部	教授 兵藤 裕己	211
512	坐 禪 部	教授 酒井 潔	富士見会館南
513	茶 道 部	教授 荒川 正明	208
514	三曲研究部 絲竹会	教授 武内 房司	218

団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置
515	史 学 部	教授 鶴間 和幸	415
516	社 会 科 学 研 究 部	教授 下川 潔	403
517	写 真 部	教授 中野 春夫	102
518	将 棋 部	教授 村山 健太郎	503
519	書 道 部	教授 大澤 顯浩	206
520	心 理 学 研 究 部	教授 山本 政人	203
521	生 物 部	教授 安達 卓	217
522	中 国 文 化 研 究 部	教授 高柳 信夫	417
523	美 術 部	教授 佐野 みどり	富士見会館 405
525	文 芸 部	教授 中条 省平	310
526	弁 論 部	教授 井上 寿一	518
527	法 学 研 究 部	教授 鎮目 征樹	311
528	放 送 研 究 部	教授 亀長 洋子	312
546	スカイウンズジャズオーケストラ部	教授 内野 崇	224

■ 輔仁会大学支部文化系同好会

団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置
529	ダンスアブローズ	教授 鈴木 雅生	221
530	あるびよんクラブ	教授 神戸 伸輔	319
531	池 坊 華 道 研 究 会	教授 村野 良子	210
533	音 楽 愛 好 会	教授 川崎 徹郎	216
534	華 道 会	教授 家永 遵嗣	213
535	ギターアンサンブル同好会	教授 山下 純司	222
537	近 代 史 研 究 会	教授 清水 大昌	321
543	史 蹟 研 究 会	教授 家永 遵嗣	323
544	児 童 文 化 研 究 会	教授 阪口 功	309
547	世 界 民 謡 研 究 会	教授 眞野 泰	225
548	速 記 研 究 会	教授 村瀬 英彰	306
549	探 検 ク ラ ブ	教授 津村 政孝	405
550	中 南 米 研 究 会	教授 神戸 伸輔	325
551	鉄 道 研 究 会	教授 宮川 努	322
552	トイッククラブ	准教授 小林 和貴子	324
553	陶 芸 研 究 会	教授 荒川 正明	209
554	東 洋 文 化 研 究 会	教授 島尾 新	406
555	能 楽 研 究 会	准教授 松波 直弘	220
556	美 術 史 研 究 会	教授 島田 誠	419
557	仏 教 研 究 会	教授 前田 直子	410

団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置
558	民 族 舞 踊 研 究 会	准教授 小林 和貴子	215
559	ユースホステル研究会	教授 今野 浩一郎	308
560	落 語 研 究 会	教授 荒川 正明	207
561	海 外 旅 行 研 究 会	教授 辰巳 憲一	408
562	キャンピングクラブ	教授 持田 邦夫	506
563	考 古 学 研 究 会	教授 鐘江 宏之	523
564	国 際 政 治 研 究 会	教授 村主 道美	515
565	コ ン ピ ュ ー タ 研 究 会	教授 中野 伸	507
566	シェイクスピアドラマソサエティ	教授 中野 春夫	317
567	司 法 研 修 会	教授 竹中 悟人	422
568	社 会 福 祉 研 究 会	教授 吉川 眞理	510
569	社 交 舞 踏 研 究 会	教授 亀長 洋子	516
570	手話サークル“のぞみ”	教授 眞嶋 史叙	522
571	地 学 研 究 会	教授 水野 雅司	520
573	フライングハウス	教授 岩崎 淳	205
574	ブリッジクラブ	准教授 小島 和男	502
575	漫 画 研 究 会	教授 中山 昭彦	505
576	ア ナ ウ ン ス 研 究 会	教授 横山 久芳	421
577	ア ニ メ ー シ ョ ン 研 究 会	教授 亀長 洋子	320
578	アカペラサークル Twinkle	教授 中野 史彦	418

■ 独立団体

団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置
136	応 援 団	教授 林 圭介	103
801	学 生 相 談 所	教授 神前 禎	201
802	学 生 放 送 局	教授 元田 結花	富士見会館 202

団体コード	名 称	部 長 教 員 名	部会室位置
803	学 習 院 大 学 新 聞 社	教授 眞嶋 史叙	316
804	輔仁会雑誌編集委員会	教授 大久保 直樹	318

(注) 部会室位置の各番号は黎明会館の部屋番号です。上記は平成 29 年 2 月における平成 29 年度の予定です。

願出・届出

■ 課外活動に関する願・届

種 類	提出期限	備 考	公認団体	任意団体	
学内団体届 部員名簿	年度始め	学内公認団体は必ず提出	○		
部会室年間使用申請書		部会室使用団体は必ず提出	○		
年間活動報告書	年度末	学内公認団体は必ず提出	○		
役員改選届	変更後直ちに	学生役員が交代した場合すみやかに提出	○		
部長交代届・代理届		部長教員が退職、長期国内外出張の場合に提出	○		
合宿許可願	出発1週間前	「参加者名簿」「部員への伝達事項」を添付、参加者に女子大学の学生を含む場合は女子大学発行の「合宿許可願」を添付	○		
試合・集会許可願	行事1週間前	学内外で行う試合、集会について事前に届け出ること	○		
集会許可願 (教室・施設使用許可願)	行事3日前	教室を使用する場合 ※本学学生のみで行う行事で、課外活動に使用可能な教室のみ申請可	○		
共用施設 集会許可願 (使用許可願)	前日まで	富士見会館・輔仁会館の共用施設を使用する場合	○	○	
対外活動結末報告書	終了後直ちに	学内外で行った試合、集会についての結果を報告すること	○		
掲示申請書	ポスター	3日前	○	○	
	立看板				掲示期間は最長3週間(合計10枚まで) 110cm×80cm以内 学生掲示板(49ページ)に掲示すること
	チラシ				開催2週間前から西門付近に限り設置可能(1枚) 当日に限り会場前にも1枚可能 たて200cm×よこ100cm以内 西門付近に配置すること
学生自動車入構許可願	3日前	車両入構の場合(入構時間30分以内)	○	○	
開催許可願	行事決定次第	有料の場合は収支明細・税務措置等の明記必要	○		
物品借用願	前日まで	貸出物品は49ページを参照	○	○	
火器使用許可願	—	部会活動で使用の必要がある場合	○	○	
補修願	すみやかに	ガラス損傷・ドア破損など修理が必要な場合	○	○	
学内での盗難被害届	すみやかに	館内で紛失・盗難・破損等の事故があった場合	○	○	
学内撮影・取材申請	すみやかに	校内の撮影・取材をする場合	○	○	
校章使用願	校章デザイン受領 希望日の3日前	校章を使用する場合	○	○	

〈注意〉上記の各種願出ならびに届出の提出期限に関しては、日曜・祝日をはじめ窓口閉室日を除いたものになります。

■ 試合・集会

行事1週間前までに、「**試合・集会許可願**」を学生センター学生課に提出してください。学内施設を使用する場合には、「**集会許可願**（**教室・施設使用許可願**）」を3日前まで（学外者を含む場合は1週間前まで）に提出してください。

学外で、本学学生・団体が主催して行う試合・集会についても同様に願い出が必要です。

加入している連盟等の試合・集会を本学内で行う場合は、連盟からの施設使用願を添付してください。

■ 合宿

学内団体が合宿を行う場合には、出発の1週間前までに「**合宿許可願**」、「**参加者名簿**」、「**部員への伝達事項**」（①宿舎名 ②宿舎所在地 ③合宿の期間 ④代表者の名前と連絡先）を学生センター学生課に提出してください。参加者に学習院女子大学の学生が含まれる場合は、女子大学発行の「合宿許可願」を添付してください。

なお、合宿には、上記①～④を家族に伝え了承を得た上で参加してください。

■ 構内宿泊

構内宿泊は原則としてできません。

■ 催物の開催

学内の団体が各種催物を主催して行う場合には、「**開催許可願**」を行事が決まり次第学生センター学生課に提出してください。有料の場合には、収支明細を明記のうえ税務署への申請が必要となります。

学生団体主催の有料パーティー等は禁止です。また、後援団体主催のものでも、本学学生を対象としたもの、もしくは本学学生の手で入場券の売りさばきをする場合も同様に認めません。

■ 自動車の入構

大学構内に大型バス・乗用車等を入構する際には、入構日の3日前までに「**学生自動車入構許可願**」を学生センター学生課に提出してください。（04 ページ参照）

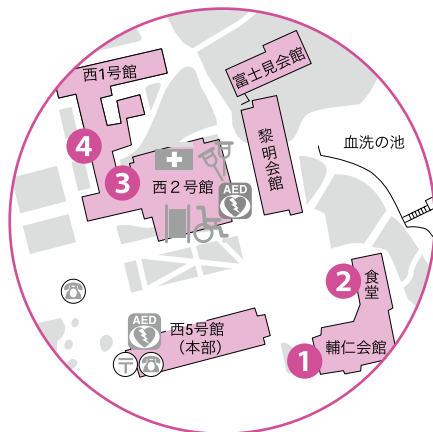
- ※ 入構時間は30分間です。また、入構時には守衛所に「学生自動車入構許可願」の控えを提示してください。
- ※ 任意団体が申請する場合は「参加者名簿」が必要です。
- ※ 入構が出来ない日もありますので、事前に確認してください。

■ 学生用掲示板

課外活動用として

- ① 輔仁会館東側
- ② 輔仁会館西館
- ③ 西1号館階段踊場
- ④ 西1号館正面玄関入口左側

以上4カ所を用意しています。



■ 物品貸出

学生センター学生課にて

- 拡声器
- トランシーバー
- マイク・アンプセット
- マイクスタンド
- プロジェクター・スクリーン
- パネル

等を貸し出しています。

事前に学生課窓口で空き状況を確認の上、使用希望日の前日までに「**物品借用願**」を提出してください。

■ 学内撮影・取材について

学内の撮影・取材をする際には、「**院内撮影・取材申請書**」または「**学内撮影・取材申請書**」を学生センター学生課に提出してください。許可されていない撮影・取材は禁止します。

※ 承認までに時間がかかりますので、申請は速やかに行ってください。

構内施設

施設	曜日	時間	使用方法/備考
黎明会館	—	6:00～22:30	
西5号館学生ホール	月～金	8:00～19:00	貸出ししない（開室は授業開講時） 学期末・学年末試験期間中は7:30より開室
	土	8:00～15:00	
教室 西1・北1・西2・南3 （一部の教室を除く）	月～金	12:10～13:00※	任意団体は使用不可 ※月～金 12:10～13:00は、西1・北1のみ使用可
		17:50～20:00	
	土	13:00～17:00	
輔仁会館	次項以降を参照		
富士見会館			
体育施設			

（注意）

平成29年度貸出施設については、変更の生じる場合があります。
中・高等科施設・グラウンド等、中・高等科敷地内での活動は原則としてできません。
ホームページに掲載されている「学則・諸規程」を確認してください。

■ 教室棟

使用時間

月～金曜日 12:10～13:00（西2、南3を除く）
17:50～20:00
土曜日 13:00～17:00

使用教室

西1 101～109、206～213、301～310、315、316
北1 201、301～306、401～404、407、408
西2 201、203～205、301～306、401～406
南3 103、104、202、203、301、401

使用手続き

学生センター学生課主催の教室予約調整会議（年2回実施）にて使用団体を決定します。

注意事項

- ・ 授業のない日は教室の使用ができません。
- ・ 任意団体は使用できません。
- ・ 授業、学校行事が優先となります。
- ・ 西1～3階（301～310、315、316）及び西2は、原則として音楽系団体のみ貸出となります。

■ 輔仁会館

使用時間

（平日）		（土曜及び授業のない日）	
a 時間帯	9:00～11:00	A 時間帯	9:00～13:00
b 時間帯	11:00～13:00	B 時間帯	13:00～17:00
c 時間帯	13:00～15:30	C 時間帯	17:00～20:30
d 時間帯	15:30～18:00		
e 時間帯	18:00～20:30		

使用施設

集会室：301（16）、302（20）、303（20）、304（20）、305（8）、401（12）、402（20）、403（20）、
404（8）、405（20）、406（20）、407（20）
（406、407はパーテーションで仕切り）

和室：306、307（襖で仕切り）
※ 括弧内は席数。

使用手続き

- ・学生センター学生課にて使用日の1か月前から1日前まで申込を受付けます。
- ・1室につき2時間帯まで連続の使用を可とし、1団体1日につき合計4時間帯までとします。貸出上限を超えて、輔仁会館の使用を希望する場合は、学生課備付の「課外活動特別申請願」に理由を記載の上、「共用施設 集会許可願（使用許可願）」と併せて提出してください。

注意事項

- ・3階学生談話室は、休憩等のために全ての学生に開放しますので、特定の団体への貸出は行いません。
- ・新入生歓迎期間（準備・片付日含む）、オール学習院の集い（準備・片付日含む）、大学祭（準備・片付日含む）、年末年始（12/26～1/6）、入試期間、停電期間（夏期及び冬期）は使用できません。
- ・輔仁会館内での音出しは、他団体との共用施設であることから、節度ある範囲でお願いします。また、近隣住居も近いことから十分に配慮してください。
- ・使用者に院外者（学生生徒、教職員、本院関係諸団体以外）が含まれる場合や、本学学生・生徒が使用者全体の60%未満の場合、使用料金が発生します。詳細は学生課にて確認してください。

■ 富士見会館

施設

特定の団体が使用する専有施設と課外活動団体その他の団体が共同で使用する共用施設の二つに区分されています。共用施設は、学生課で貸出を行っています。

- ① 専有施設：部室、アトリエ（演劇、美術）、倉庫、防音倉庫、弓道場、陶芸窯場等
- ② 共用施設：集会室：5階1室（507（21））4階4室（402（30）、403（24）、404（24）、406（24））、集会所 3階（集会室を大きくした部屋）、富士見会館ホール 3階（舞台装置付き）集会室 [和室] 5階、道場 1階、防音室 地下3室（B01、B02、B17）

※ 括弧内は席数。

使用上の注意

- ① 楽器演奏ができる施設は、原則として、防音室、防音倉庫、集会所、富士見会館ホールです。和楽器等の使用については、別途考慮します。
- ② 陶芸窯場、和室の炉を除き、火器の使用を禁止します。
- ③ 会館内では、以下のことを原則として禁止します。
施設の改造 備品の持出し 掲示・張り紙 飲酒 スパイク入館

共用施設を使用できる団体

本学の公認団体が主に使用できますが、本学学生10名以上で構成する任意団体は、4階集会室に限り使用することができます。

任意団体が使用する場合は、「**集会許可願（使用許可願）**」に「**参加者名簿**」を添えて申請してください。

共用施設の使用手続き

(1) 集会室の使用手続き

「**集会許可願（使用許可願）**」を学生センター学生課に提出してください。公認学生団体は1か月前から、任意団体は7日前から受け付けます。なお、原則として先着順です。

(2) 富士見会館ホール・集会所の使用手続き

予約調整会議で使用団体を決定します。当会議は年2回開催します。開催日はG-portの課外活動掲示板でお知らせします。

使用が決まった団体は、「**集会許可願（使用許可願）**」を学生センター学生課へ速やかに提出してください。

(3) 集会室 [和室]、道場、防音室の使用手続き

年度の初めに「**使用希望団体登録**」を行ってください。登録した団体は、定期的に予約調整会議を開催し、月ごとに使用スケジュールを決定のうえ、学生センター学生課へ報告してください。

鍵の貸出し

平日8:40～16:00、土曜日8:40～12:00は、学生センター学生課で鍵の受渡しを行います。上記時間帯以外及び休日は、正門守衛所で鍵の受渡しを行います。鍵の受渡し時は、学生証を提示のうえ、記録簿に記帳してください。

使用時間内に鍵を返却してください。次の使用団体に迷惑をかけます。学生団体間での鍵の受渡しは禁止します。

共用施設の使用要領

施設名	3階集会所	3階ホール	集会室 402/403/404/406	集会室 507	和室・道場 防音室
使用団体	大学の公認学生団体		大学の公認学生団体及び大学学生 10名以上で構成する任意の学生団体	大学の公認学生団体	大学の公認学生団体（事前に使用希望団体登録を行い、許可を得た団体に限る）
使用期間	新入生歓迎期間（準備・片付日含む）、オール学習院の集い（準備・片付日含む）、大学祭（準備・片付日含む）、年末年始（12/26～1/6）、入試期間、停電期間（夏期・冬期）を除く毎日				
使用時間	授業の行われる日	<平日> a 時間帯 9:00～11:00 d 時間帯 15:30～18:00 b 時間帯 11:00～13:00 e 時間帯 18:00～20:30 c 時間帯 13:00～15:30			平日、土曜及び授業のない日ともに 9:00～20:30
	授業のない日	<土曜> A 時間帯 9:00～13:00 B 時間帯 13:00～17:00 C 時間帯 17:00～20:30			
	補講日、試験日を含む	A 時間帯 9:00～13:00 B 時間帯 13:00～17:00 C 時間帯 17:00～20:30			
使用回数	-		1室につき2時間帯まで連続使用可 1団体1日につき合計4時間帯まで		-
使用手続	学生課主催の予約調整会議で決定開催予定（年2回） 4/1～10/31 予約分 2月初旬 11/1～3/31 予約分 9月中旬 ※学年暦や暦により変更の可能性あり。G-Portで団体代表者宛通知		<公認学生団体> 使用日1か月前同日から前日までに申請 <任意の学生団体> 使用日7日前から前日までに申請	使用日1か月前同日から前日までに申請	許可を得た公認学生団体で月別スケジュールを作成し、提出すること
申請書類	共用施設 集会許可願（使用許可願）※任意団体は参加者名簿を添付 使用回数上限を超えて使用を希望する場合は、「課外活動特別申請願」を添付				月別スケジュール

冷暖房について（富士見会館・黎明会館）

稼働期間	【冷房】 6月10日～9月30日 【暖房】 11月20日～4月5日 ただし外気温が概ね28度を上回るか、または18度を下回るような場合は、適宜判断し、運転または運転の中止を行う。
運転期間	【共用施設】 12月26日～1月6日を除く施設使用可能期間 【特定団体が使用する施設】 施設使用可能期間中
運転時間	開館・閉館時間による
設定温度	【冷房】 28℃ 【暖房】 20℃
節約運転	① 室内に人がいなくなる場合は、こまめにスイッチを切ること ② 室内温度により、ON・OFFをこまめに行うこと

※ 上記内容は変更する場合があります。

■ 体育施設

【窓口】スポーツ・健康科学センター

施設名	曜日	使用可能時間帯	備考
体育館 北グランド 軟式テニスコート 多目的コート 卓球場	日～土	体育館 8:30～20:30 北グランド、軟式テニスコート 6:00～20:30 多目的コート 6:00～20:00 卓球場 9:00～20:30	9:00～14:40までは授業を、15:00以降は運動部の使用を優先します。 詳細はスポーツ・健康科学センター発行の『HEALTH & SPORTS LIFE』を参照してください。
トレーニングルーム	月～土	トレーニングルームの掲示板上にスケジュール表が掲示されます。スポーツ・健康科学センターのホームページでも確認ができます。	西2号館地下1・2階にあります。 室内ランニングコース、自転車エルゴメータ、トレッドミル、クロストレーナー、ノーチラスマシーン、フリーウエイト等を備えています。 トレーニングルーム使用講習を受けた本学生・教職員が使用可能です。

※ 用具貸し出しの借用申請と貸出は、スポーツ・健康科学センターの開室時間中に受け付けています。

- 施設使用時の手続きについては、窓口までお問い合わせください。
- 施設内は禁酒、禁煙です。
- 屋内施設は室内履き、外の施設では原則として運動用シューズを用意してください。（施設によって許可される靴が異なります）
- 施設・設備・運動用具を破損した場合は直ちに関係部署に届けてください。この場合、個人の責任のときは当該本人が、団体の場合はその責任者が弁償の責を負うものとします。
- 使用後は必ず清掃・コート整備及び使用器具の後片付けをしてください。
- 体育実技用の更衣室とシャワー室は次の通りです。

【屋外の種目】…西2号館地下2F更衣室 【体育館種目】…体育館内更衣室

データ

■ 起源

学習院の創立と名称

弘化4年（1847）3月、京都に公家の教育機関として開講、当初は学習所とも称しましたが、嘉永2年（1849）4月孝明天皇より「学習院」の勅額が下賜されて正式名称となりました。

この名称が論語冒頭の「学而時習之、不亦説乎」（学びて時にこれを習う、またよろこばしからずや）に基づくことは疑いないとされています。明治元年（1868）3月に講義を閉じたのち、改称や改編を

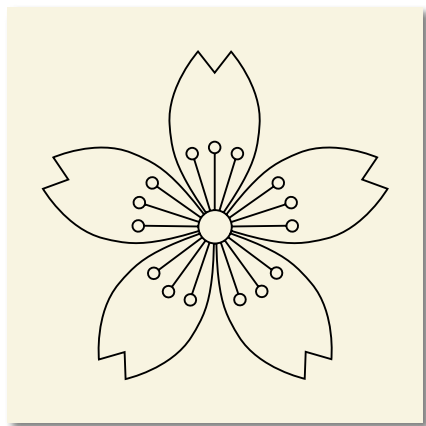
経て明治3年（1870）、京都の旧学習院は廃止されました。

明治10年（1877）10月、神田錦町において華族学校開業式が行われ、明治天皇より校名を「学習院」と賜わり、次いで「学習院」の勅額が再び下賜されました。ここに現在の学習院が創立されたのです。

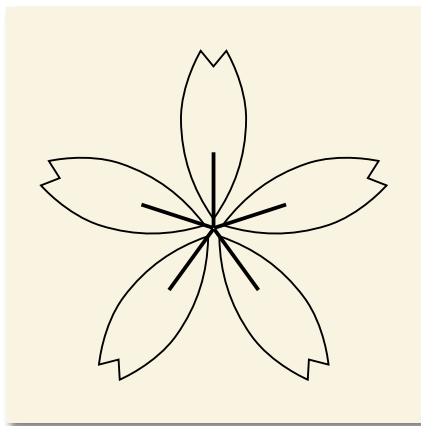
桜花の徽章（院章）

桜花の院章のデザインは、学習院の創立当初より使用されてきました。本居宣長の歌「敷島の大和心を人間はゞ朝日に匂ふ山桜花」からとられています。昭和24年（1949）に開学した学習院大学は、同年に独自の大学校章を考案して用いています。

院章



大学校章



■ 院歌

学習院院歌の制定について

明治10年（1877）年の創立以来、学習院は校歌をもたず、代わって明治天皇より賜った「修学卒業歌」が式典などで歌われていました。また華族女学校・学習院女学部・女子学習院では、昭憲皇太后から下賜された「金剛石 水は器」、貞明皇后から下賜された「はなすみれ」「月の桂」といった御歌が歌われました。

学習院が私立学校として再出発した後、多くの人々から院歌制定の要望が寄せられました。これに応えて安倍能成院長は、学問を好み真理を熱愛し、謙虚にして反省に富み、進んで社会に奉仕し、困難に屈しない意力ある人物を養成したいとして、自ら作詞を行い（作曲は信時潔）、昭和26年（1951）年に「学習院院歌」が制定されました。

略年表

弘 化	4年(1847)	京都に学習所開講、嘉永2年(1849年)に学習院と校名が定まり明治元年(1868年)大学寮代と改称された	昭 和	50年(1975)	文学部に心理学を増設 文学部イギリス文学科を英米文学科と改称 史料館開設
	10年(1877)	東京神田錦町に華族学校開業、学習院の名を受け継ぐ		53年(1978)	学習院創立百周年記念式典 大学院経営学研究科経営学専攻を設置 黎明会館完成
明 治	17年(1884)	宮内省所管の官立学校となる	昭 和	54年(1979)	大学院政治学研究科政治学専攻、経済学研究科 経済学専攻を設置
	22年(1889)	学習院輔仁会発足、翌年『輔仁会雑誌』創刊		55年(1980)	大学院人文科学研究科に心理学専攻を増設
	41年(1908)	北豊島郡高田村(現、豊島区目白1-5-1)に移転		57年(1982)	大学院政治学研究科、人文科学研究科、自然科学 科学研究科の修士課程、博士課程を博士前期課程、 博士後期課程に変更
	20年(1945)	空襲のため目白校舎の多くを焼失		平 成	2年(1990)
22年(1947)	学習院と女子学習院が合併し財団法人学習院 発足、私立学校となる	3年(1991)	文学部国文学科を日本語日本文学科と改称、 大学院人文科学研究科国文学専攻を日本語日本 文学専攻と改称		
24年(1949)	新制学習院大学開設 文政学部(文学科、哲学科、政治学科)1、2年 生と理学部(物理学科、化学科)1年生が入学	6年(1994)	スポーツ・健康科学センター開設		
25年(1950)	四大学運動競技大会が始まる	9年(1997)	外国語教育研究センター開設		
26年(1951)	学習院院歌制定	11年(1999)	大学開学50周年記念式典		
27年(1952)	文政学部を改組し、政経学部(政治学科、経済 学科)と文学部(哲学科、文学科)を設置 学習院東洋文化研究所を設置	12年(2000)	富士見会館完成		
28年(1953)	大学院人文科学研究科(哲学専攻、国文学専攻)、 自然科学研究科(物理学及び化学専攻)を設置	13年(2001)	f-Campus(5大学単位互換制度)開始		
31年(1956)	対甲南大学総合定期戦が始まる	16年(2004)	専門職大学院法務研究科(法科大学院) 法務専攻を設置		
32年(1957)	文学部文学科を国文学科、イギリス文学科、 ドイツ文学科、フランス文学科に改組 大学院人文科学研究科にイギリス文学専攻、 ドイツ文学専攻、フランス文学専攻を増設	19年(2007)	文学部ドイツ文学科をドイツ語圏文化学科と、 フランス文学科をフランス語圏文化学科と改称		
35年(1960)	中央教室棟(ピラミッド校舎、平成20年取り 壊し)などが完成	20年(2008)	文学部英米文学科を英語英米文化学科と改称 大学院人文科学研究科に美術史学専攻、アーカ イブズ学専攻、身体表象文化学専攻を増設 大学院自然科学研究科に生命科学専攻を増設		
36年(1961)	文学部に史学科を増設 大学院自然科学研究科物理学及び化学専攻を 物理学専攻、化学専攻に変更	21年(2009)	理学部に生命科学科を増設 大学院人文科学研究科に臨床心理学専攻を増設 大学院人文科学研究科イギリス文学専攻を英語 英米文学専攻と改称		
38年(1963)	理学部に数学科を増設	22年(2010)	大学院人文科学研究科ドイツ文学専攻を ドイツ語ドイツ文学専攻と改称		
39年(1964)	政経学部を改組し法学部(法学科、政治学科)、 経済学部(経済学科)を設置	25年(2013)	文学部に教育学科を増設		
40年(1965)	大学院人文科学研究科に史学専攻増設	26年(2014)	国際研究教育機構開設		
42年(1967)	大学院自然科学研究科に数学専攻を増設	27年(2015)	大学院人文科学研究科に教育学専攻を増設		
44年(1969)	学習院祭が廃止され、大学祭が開始される	28年(2016)	国際社会科学部(国際社会科学科)を設置		
47年(1972)	大学院法学研究科法律学専攻を設置				
49年(1974)	経済学部に経営学科を増設 計算機センター開設				

■ 学習院院歌 (昭和 26 年制定)

安倍能成 作詞
信時 潔 作曲

1^{mf}も ゆ ー り 火 の ほ な か は 死 に て ま
2^{mp}は な ー は 咲 の き は な か し う り ま ー う と ち
3^{mf}な ー か つ な く の き や く ほ は む う け し わ ぎ の ー
4^fふ た ー つ な く の き や く ほ は む う け し わ ぎ の ー

た ー あ る る 不 死 烏 一 の ご と て や
ざ ー し よ の 死 え ぬ 一 の し く め る ま く も
ら ー な み の は く そ だ わ て き た え て
の ー が じ し の だ

れ ー さ び し に は せ い か き よ の う ー え ー に め せん
な ー か く も に よ せ 世 へ いて ぞ の を は さ ー お ー ざ ー げ ー
ろ ー ど も に 世 へ いて ぞ の を は さ ー お ー ざ ー げ ー

ち ー あ が つ れ ー を は け が ー く し ー う か ー い ん
ん が ー む ね ー は せ し い き し ん き ぼ ん が て う り と へ ー ぬ ー け ー る ー わ
こ ー て ー せ し い き し ん き ぼ ん が て う り と へ ー ぬ ー け ー る ー わ

- 一、もゆる火の 火中ほなかに死にて
また生あるる 不死鳥のごと
破れさびし 廢墟の上に
たちあがれ 新学習院
- 二、花は咲き 花はうつらふ
過ぎし世の 光栄はえふみしめて
まなかに 世界ををさめ
現実を 生きてし抜かん
- 三、なげかめや 昔を今と
荒波よ 狂はば狂へ
黒雲よ ゆくてはどぞせ
我が胸は 希望高鳴る
- 四、二つなく 享うけし我命わがのち
おのがじし 育て鍛へて
もろとも 世にぞ捧げん
常照とこらせ 真理と平和

■ 学習院輔仁会会歌 (昭和 11 年制定)

棚池慶助 作曲

つ も ら ば つ ひ に や ま と は な ら ん
め に み え ぬ ち り す ら
く も い ー る ー や ま も そ の い に し え は
ち り よ り や な り け ん
あ わ が と も も ろ と も に
た す け つ ー つ す す ま ば
や ま よ ー り ー た か き い さ を も な ら ん
お こ た ら ず つ と め よ

- 一、積らばつひに山とはならん
めに見えぬちりすら
雲入る山もその古は
ちりよりやなりけん
あゝ我友もつとめよ
- 二、たまらばのちは海ともならん
消えやすきつゆだに
千尋の海もその古は
つゆよりやなりけん
あゝ我友もつとめに
たすけつとすまば
- 三、積らばつひに山とはならん
めに見えぬちりすら
たまらばのちは海ともならん
消えやすきつゆだに
あゝ我友もつとめに
たすけつとすまば
心もかなひ月もあはは
何事かならざる

内山弘紀 作詞
堀内敬三 作曲

はつらつと ♩ = 116

1. も り 上 る 我 等 の 力
2. も え た ぎ る 我 等 の 血 潮
3. 栄 光 の 歴 史 に 映 え て
あ あ 学 習 院 今 ぞ 戦 う

一、 もり上る 我等の力
もえたぎる 我等の血潮
栄光の歴史に 映えて
ああ学習院 今ぞ戦う

二、 遙かなり 我等のゆくて
越え行くは 嵐の山河
躍進の力よ 意気よ
ああ学習院 無敵の王者

三、 たくましき 我等の腕に
青春の 我等の胸に
こだまする 高き調べは
ああ学習院 勝利の歌ぞ

一、 もり上る 我等の力
もえたぎる 我等の血潮
栄光の歴史に 映えて
ああ学習院 今ぞ戦う

二、 遙かなり 我等のゆくて
越え行くは 嵐の山河
躍進の力よ 意気よ
ああ学習院 無敵の王者

三、 たくましき 我等の腕に
青春の 我等の胸に
こだまする 高き調べは
ああ学習院 勝利の歌ぞ

■ 開門時間・利用時間一覧

- 開門時間 ● 正門大扉：6時～22時 ● 西門：8時～21時（日曜・祝日は8時～18時）
 ● 正門小扉：6時～24時 ● 西坂門：7時～19時（日曜・祝日は閉門）

事務室

部署	月～金	土曜日	場所	備考
教務課・学生課	8:40～16:45	8:40～12:30	中央教育研究棟 1F	
キャリアセンター			西5号館 4F	
アドミッションセンター	8:40～11:30 12:30～16:45		中央教育研究棟 2F	
国際交流センター		9:30～17:00	9:30～12:30	
学生相談室	8:40～16:45	8:40～12:30	西2号館地下 1F	
保健センター	8:40～11:30 12:30～16:45		中央教育研究棟 6F	
教職課程事務室			西5号館 6F	
経営企画課			中央教育研究棟 2F	
研究支援センター	9:00～17:00	9:00～12:30	東2号館 8F	
法学部共同研究室	9:00～17:00	9:00～12:30	東2号館 12F	
経済学部共同研究室	8:50～11:10 12:10～17:30	8:50～12:30	北2号館 4F	
哲学科事務室	9:00～11:30 12:30～17:30	9:00～13:00	北2号館 2F	
史学科事務室	9:00～11:20 12:20～17:00	9:00～12:30	北2号館 8F	
日本語日本文学科事務室	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～13:00	北2号館 9F	
英語英米文化学科事務室	9:00～11:20 12:20～16:30	9:00～12:30	北2号館 3F	
ドイツ語圏文化学科事務室	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:30	北2号館 5F	
フランス語圏文化学科事務室	9:30～11:30 12:30～17:30	9:30～13:00	北2号館 7F	
心理学科事務室	月水金 8:45～11:30 12:30～16:45 火木 8:45～11:30 12:30～18:30	9:00～12:30	北1号館 2F	
教育学科事務室	8:40～11:30 12:30～16:45	8:40～12:30	南7号館 1F	
理学部事務室	9:00～16:30	9:00～12:00	南2号館 2F	
国際社会科学部事務室	10:00～11:30 12:30～18:00	9:00～12:30	北2号館 6F	
身体表象文化学専攻事務室	10:00～11:30 12:30～18:30	10:00～11:30 12:00～16:30	北2号館 6F	
アーカイブズ学専攻事務室	8:40～16:45	8:40～12:30	中央教育研究棟 11F	
法務研究科事務室	9:00～17:00		中央教育研究棟 11F	
法務研究科研究補助室	9:30～11:30 12:30～17:30	9:30～12:30	北別館	開室は原則史料館に同じ
学芸員課程事務室				

● 休業期間中・大学行事等で時間に変更がある場合は、掲示・ホームページ等でお知らせします。

附置研究施設

部 署	月～金	土曜日	場 所	備 考
スポーツ・健康科学センター	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～12:30	北1号館 1F	
計算機センター	9:00～11:30 12:30～18:00	9:00～12:30	南5号館 2F	
外国語教育研究センター	8:45～11:30 12:30～16:45	8:45～12:30	中央教育研究棟 6F	
東洋文化研究所	9:30～11:30 12:30～16:30	9:30～11:30	北1号館 4F	閲覧業務取扱時間
史料館	9:30～11:30 12:30～17:30	9:30～12:30	北別館	開館情報等詳細は HP にて
国際研究教育機構	9:30～17:00		東1号館 7F	
経済経営研究所 (GEM)	9:00～17:00	9:00～12:30	東2号館 12F	経済学部共同研究室に準ずる
人文科学研究所	9:00～11:30 12:30～17:00	9:00～13:00	北2号館 10F	
生命分子科学研究所			南6号館	
心理相談室	10:00～18:00 (月曜定休)	10:00～18:00	東1号館 2F	

学習支援

部 署	月～金	土曜日	場 所	備 考
ラーニング・サポートセンター	10:00～19:00	10:00～14:00	西2号館 204	

パソコン利用時間

建 物	場 所	台 数	開 室 時 間 ※
計算機センター	実習室 1～4	計 150 台	月～金 9:00～18:00 土 9:00～14:00
南3号館	101 教室 102 教室	104 台 104 台	授業専用
東2号館	1F ロビー 2F コンピューター室	6 台 53 台	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00
	法経図書センター	77 台	月～土 8:50～20:00
大学図書館	コンピューター利用閲覧室	47 台	月～金 8:50～21:00 土 8:50～18:00
西1号館	203 教室 205 教室	30 台 36 台	月～金 9:00～18:00 土 9:00～12:10 (授業優先)
西2号館	1F サービスコーナー 1F 自習室	13 台 48 台	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00
	2F 202 教室	60 台	授業専用
	3F 303 教室	58 台	授業専用
中央教育研究棟	1F エントランスホール 5F 教室(501～506室)	8 台 216 台	月～金 9:00～20:00 土 9:00～17:00 (教室は授業優先)
	6F 外国語自習室	35 台	月～金 10:00～16:30 土 閉室
南2号館	200 教室	89 台	授業優先
	2F ISS 英語自習室	12 台	
	3F ISS 自習室	16 台	

※：休暇期間中等は変わります。

■ 自習スペース

個人利用向けスペース

場所・階数	教室名等	定員(名)	パソコン	プリンター	スキャナ	申請の必要 (申請期限)	問合せ窓口
東2号館 1F	107 (自習室)	78	なし	なし	なし	なし	—
西2号館 1F	自習室	66	有	有	有	なし	—
大学図書館3F	コンピューター 利用閲覧室	40	有	有	有	なし	大学図書館 1F カウンター
大学図書館各 F	閲覧席	351	なし	なし	なし	なし	大学図書館 1F カウンター
法経図書センター (東2号館 3～7F)	閲覧席	530	情報検索 コーナー、 書庫に有	有	なし	なし	法経図書センター (東2号館 5F)
理学部図書室 (南4号館 1、3F)	閲覧席	67	なし	なし	なし	なし	理学部図書室 (南4号館 1、3F)
計算機センター 1、2F	実習室 1～4	計 150	有	有	有	なし	計算機センター
外国語教育研究センター (中央教育研究棟 6F)	外国語自習室	60	有	なし	なし	なし	外国語教育研究センター (中央教育研究棟 6F)

グループ利用向けスペース

場所・階数	教室名等	定員(名)	パソコン	プリンター	スキャナ	申請の必要 (申請期限)	問合せ窓口
大学図書館3F	AV/ 特別閲覧室	3～12	なし	なし	なし	有(当日まで)	大学図書館 1F カウンター
法経図書センター (東2号館 7F)	グループ学習室 ①、②	3～12	有	なし	なし	有 (1週間前～当日)	法経図書センター (東2号館 5F)

利用形態問わず

場所・階数	教室名等	定員(名)	パソコン	プリンター	スキャナ	申請の必要 (申請期限)	問合せ窓口
東2号館 2F	204 (PC 室)	53	有	有	なし	なし (ただし、授業優先)	経済学部共同研究室 (東2号館 12F)
北2号館各 F	文学部各学科 閲覧室	10～72	有	なし (ただし、 学科による)	なし	なし	文学部各学科事務室 (北2号館各 F)
大学図書館3F	グループラーニング室 ①、②	①: 8 ②: 12	なし	なし	なし	なし (ただし、貸切予約優先)	大学図書館 1F カウンター
法経図書センター (東2号館 5F)	セミナールーム	25	有	なし	なし	なし (ただし、貸切予約優先)	法経図書センター (東2号館 5F)
南2号館	2F コミュニケーション ルーム	30	なし	なし	なし	なし	国際社会科学部事務室 (南2号館 2F)
	2F 英語自習室	28	有	有	なし	なし	
	3F 学部自習室	34	有	有	なし	なし	

● 各施設の詳しい利用方法等は、各問合せ窓口にご確認ください。

関係機関・事務室

【窓口】(株) 学習院薬々会

■ 利用時間

部署	月～金	土曜日	場所	備考
学習院さくらアカデミー	10:00～17:00 (～19:00)	10:00～17:00 (日曜も開講)	大学体育館裏	括弧内は夜間講座開講時
株式会社学習院薬々会	8:40～16:45	8:40～16:45		

学食・売店

【窓口】(株) 学習院薬々会

■ 学食・売店

名称	場所	営業時間	営業内容
大学売店	輔仁会館本館 2F	平日 9:00～18:00 土曜 9:00～12:20	文房具、生活用品、情報機器、 切手、専門学校・自動車教習所・ 印刷・宅配便等 各種サービス斡旋業務
大学食堂 (委託)	輔仁会館本館・西館 1F (カフェテリア社)	平日 11:00～18:00 土曜 11:00～14:00	カフェテリア 各種ランチ、カレー類、丼類等
	輔仁会館本館 1F (テイクアウト)	平日 11:00～13:30 土曜 11:00～13:00	各種お弁当
	輔仁会館西館 2F (さくらラウンジ)	平日 9:30～16:00 土曜 休み	喫茶、お弁当、 ソフトクリーム
	輔仁会館西館 2F (麺コーナー)	平日 11:00～14:00 土曜 休み	各種うどん・そば・ラーメン
学生ラウンジ (委託)	中央教育研究棟 1F (SUBWAY)	平日 9:00～17:00 土曜 10:00～14:00	オーダーメイドサンドイッチ ドリンク
ラウンジ目白倶楽部 (委託)	中央教育研究棟 12F (日比谷松本楼)	平日 11:00～21:00 土曜 11:00～17:00	レストラン
喫茶 (委託)	西5号館 1F (カフェ・ラ・スリゼ)	平日 8:30～19:00 土曜 8:30～17:00	各種お弁当、サンドイッチ、 おむすび、パン、飲物
コンビニエンスストア (委託)	輔仁会館本館 2F (セブン・イレブン)	平日・土曜 7:00～22:00 日祝 8:00～20:00	コンビニエンスストア
書店 (委託)	西2号館 1F (成文堂書店)	平日 10:00～18:00 土曜 10:00～13:00	教科書、書籍、雑誌
コピーコーナー (委託)	西5号館中 2F	平日 8:30～19:00 土曜 8:30～19:00	

● 学年暦により営業時間が変更になります。

その他

『学習院大学』って、こんなところ!!

お友達や周りの方から学習院大学のことを聞かれたら、どんな風に答えますか？
『学習院大学』を、少しでも紹介します!!

■ 学習院大学のイベントといえば？

★ 四大戦（四大学運動競技大会）…学習院・成蹊・武蔵・成城大学が対戦します！

学習院・成蹊・武蔵・成城大学が、毎年会場と運営を持ち回りながら開催される運動競技大会です。元々各校が旧制高校時代から結びつきがあり、スポーツを通じて親睦を深め、技術向上を図ることを目的として始まりました。今年で68回を迎える歴

史ある大会です。

運動部会同士の対戦の他、部会に入っていない学生同士、さらには教職員同士の対戦もあり、関係者が一丸となって戦っています。

★ 甲南戦（学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦）…甲南大学と対戦します！

本学と神戸の甲南大学との間で、毎年開催されている運動競技の総合定期戦です。毎年交互に会場と運営を受け持ちながら行われ、今年で第62回大会を迎えます。

平成7年、神戸が阪神・淡路大震災に見舞われ

た際には、本学の運動部常任委員会が中心となり義援金やボランティアの派遣を呼びかける声があがったのは、この「甲南戦」と無関係とはいえないでしょう。甲南大学との確かな絆を築きながら、毎年激しい対戦が繰り広げられています。

★ 大学祭（桜凛祭）…大学の文化祭はイベント目白押しです！

今年で48回目を迎える大学祭は、11月3日から3日間開催予定です。たくさんのイベントや出店、夕暮れからのイルミネーション、また出演者を招いてのコンサートやトークショーも行われ、構内はたいへん賑わいます。今年も大学祭実行委員会が楽し

い企画の準備を進めていますので、積極的にご参加ください。

この他、目白音楽祭、運動部フレッシュマンキャンプ、学内競技大会、ボート大会、駅伝大会等、たくさんのイベントがありますので、ご注目ください。

■ 登録有形文化財があります！

2009年5月に、7つの建造物が国の登録有形文化財に指定されています。どの建物も歴史を感じる趣のあるものですので、ぜひ一度ご覧ください。



乃木館 1901年建造



厩舎 1901年建造



北別館 1902年建造



正門 1901年建造



東別館 1913年建造



南1号館 1927年建造



西1号館 1930年建造

※ 写真：『学習院 目白の学び舎』（史料館編）より

■ みなさんはどこから入学してきたの？

出身県別入学者数（平成28年5月1日現在）

関東から約87%入学していますが、全国の県から入学しています！

都道府県	人数	比率	都道府県	人数	比率	都道府県	人数	比率	都道府県	人数	比率
北海道	16	0.71%	富山県	1	0.04%	鳥取県	0	0.00%	鹿児島県	6	0.26%
青森県	5	0.22%	石川県	0	0.00%	島根県	1	0.04%	沖縄県	1	0.04%
岩手県	7	0.31%	福井県	1	0.04%	岡山県	2	0.09%	高卒認定・外国卒他	68	3.00%
宮城県	8	0.35%	山梨県	19	0.84%	広島県	7	0.31%	合計	2,267	100.00%
秋田県	2	0.09%	長野県	17	0.75%	山口県	2	0.09%			
山形県	3	0.13%	岐阜県	4	0.18%	徳島県	3	0.13%			
福島県	12	0.53%	静岡県	31	1.37%	香川県	3	0.13%			
茨城県	82	3.62%	愛知県	11	0.49%	愛媛県	3	0.13%			
栃木県	18	0.79%	三重県	1	0.04%	高知県	3	0.13%			
群馬県	30	1.32%	滋賀県	3	0.13%	福岡県	9	0.40%			
埼玉県	382	16.85%	京都府	3	0.13%	佐賀県	3	0.13%			
千葉県	329	14.51%	大阪府	4	0.18%	長崎県	1	0.04%			
東京都	838	36.97%	兵庫県	4	0.18%	熊本県	3	0.13%			
神奈川県	293	12.92%	奈良県	1	0.04%	大分県	3	0.13%			
新潟県	21	0.93%	和歌山県	2	0.09%	宮崎県	1	0.04%			

トップ3県

都道府県	人数	比率
東京都	838	36.97%
埼玉県	382	16.85%
千葉県	329	14.51%

■ 卒業後の進路・就職先は？

平成27年度 大学卒業生進路状況

学部・学科	卒業生数		就職希望者数		就職内定者数		進学		就職以外希望者(除・進学)		就職率
	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	総数	内女子	
法学部 法学学科	235	83	197	75	192	75	16	4	22	4	97.5%
政治学科	226	108	194	97	190	97	9	3	23	8	97.9%
経済学部 経済学科	289	87	258	84	253	84	5	1	26	2	98.1%
経営学科	257	109	233	102	230	102	5	2	19	5	98.7%
文学部 哲学科	107	77	77	61	77	61	14	8	16	8	100.0%
史学科	89	50	66	38	63	37	7	4	16	8	95.5%
日本語日本文学科	112	81	95	69	92	67	7	5	10	7	96.8%
英語英米文化学科(英米文学科)	122	87	108	77	108	77	4	1	10	9	100.0%
ドイツ語圏文化学科	47	36	41	33	41	33	2	1	4	2	100.0%
フランス語圏文化学科	78	61	63	50	62	50	5	3	10	8	98.4%
心理学科	99	67	75	54	72	52	12	5	12	8	96.0%
教育学科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
理学部 物理学科	54	8	27	0	27	0	24	7	3	1	100.0%
化学科	55	22	32	16	32	16	21	6	2	0	100.0%
数学科	64	14	51	14	51	14	8	0	5	0	100.0%
生命科学学科	52	31	30	20	30	20	22	11	0	0	100.0%
合計	1,886	921	1,547	790	1,520	785	161	61	178	70	98.3%

平成27年度 卒業生就職先 会社名一覧（24社抜粋）

金融業、保険業、公務員を中心に、様々な業種に就職しています！

順位	企業名	男	女	合計	順位	企業名	男	女	合計
1	(株) みずほフィナンシャルグループ	9	41	50	10	千葉県市町村(除:千葉県)	8	2	10
2	(株) 三井住友銀行	4	27	31	14	第一生命保険(株)	3	6	9
3	東京23特別区人事委員会	19	9	28	14	埼玉県教育委員会	5	4	9
4	(株) 三菱東京UFJ銀行	7	17	24	16	アメリカンファミリーライフアシアランスカンパニー・オプコロンパス	3	5	8
5	全日本空輸(株)	3	11	14	16	日本航空(株)	0	8	8
5	(株) リそなホールディングス	4	10	14	16	みずほ証券(株)	5	3	8
7	(株) 千葉銀行	3	10	13	16	(学) 学習院	1	7	8
8	野村證券(株)	5	6	11	16	日本郵便(株)	5	3	8
8	埼玉県市町村(除:さいたま市)	7	4	11	21	三井住友海上火災保険(株)	3	4	7
10	(株) マイナビ	1	9	10	21	(株) ジェーシービー	1	6	7
10	東日本旅客鉄道(株)	7	3	10	21	日本生命保険(相)	2	5	7
10	三菱UFJ信託銀行(株)	5	5	10	21	SMBC日興証券(株)	3	4	7